

(4) 新型インフルエンザに対する県の対策について

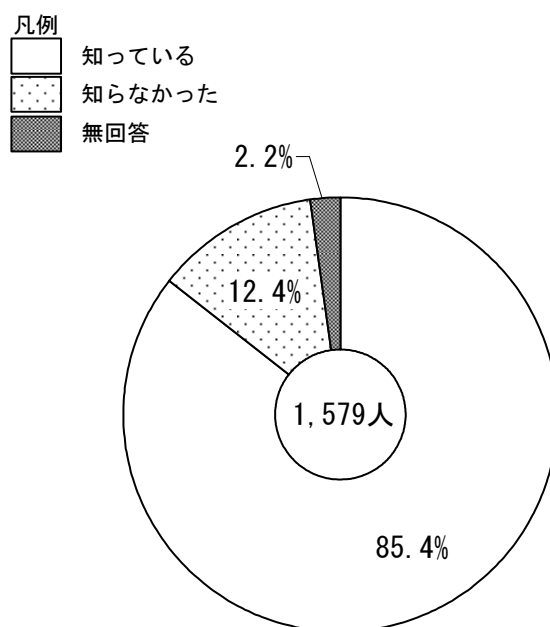
1) 新型インフルエンザの重症化について

問15 新型インフルエンザ（A/H1N1）は、基礎疾患等を有する方が感染した場合、重症化するおそれがあるとされていますが、ご存知でしたか。

〔回答者数=1,579〕

1 知っている	85.4%
2 知らなかった	12.4%
(無回答)	2.2%

新型インフルエンザに基礎疾患等を有する人が感染した場合、重症化するおそれがあるということについては、「知っている」が85.4%、「知らなかった」が12.4%となっている。

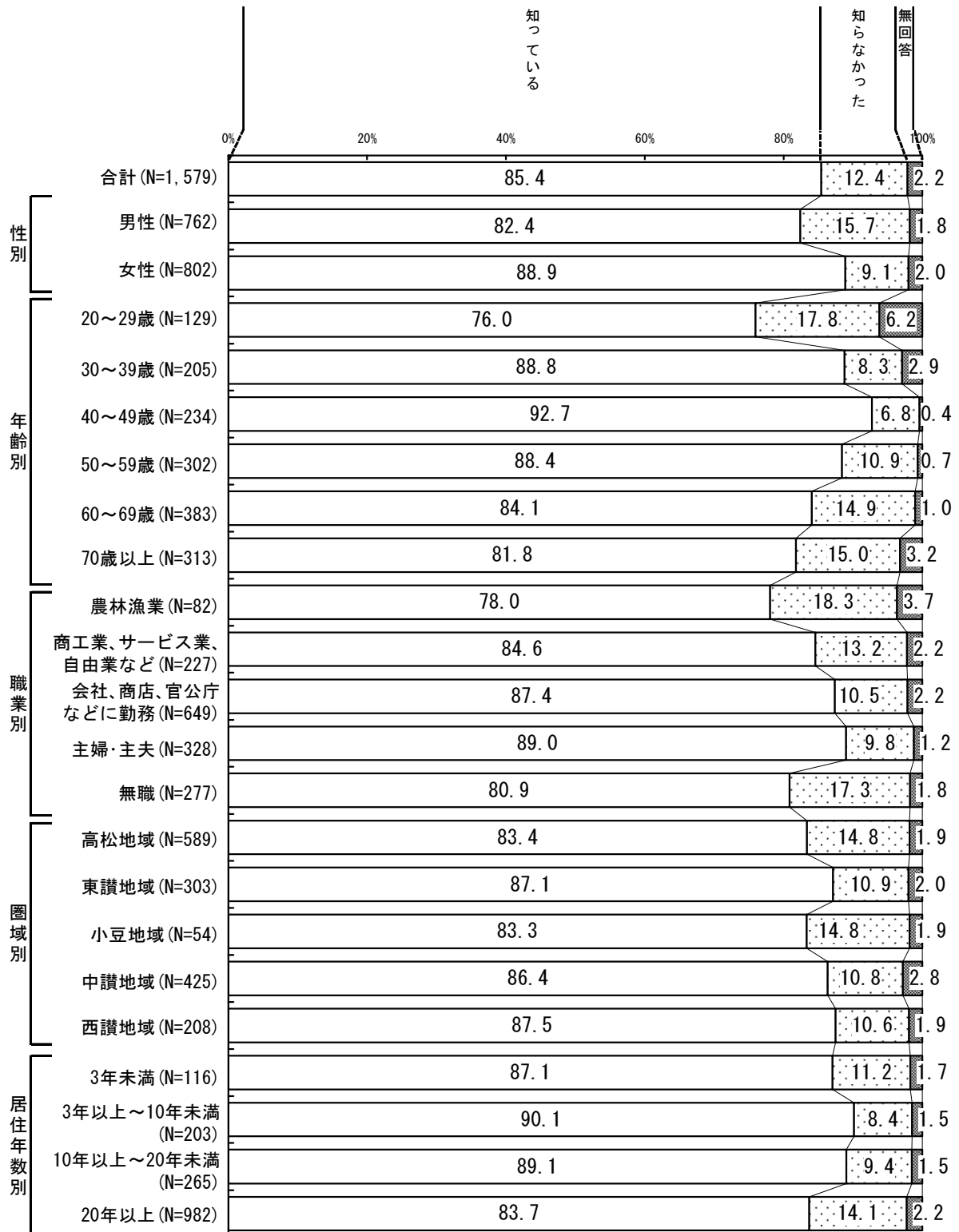


「知っている」においてみると、性別では、男性が82.4%、女性が88.9%となっている。

年齢別では、すべての年齢において「知っている」が7割を超え、多くなっており、特に30歳代から50歳代では9割程度と比較的多くなっている。

職業別では、農林漁業において7割台となっているが、その他の職業では8割台となっている。

圏域別及び居住年数別では、すべての地域や居住年数において8割を超えており、大きな違いはみられない。



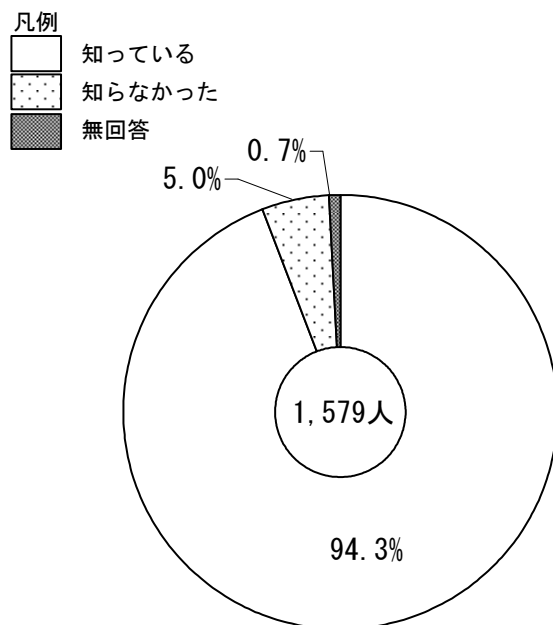
2) 新型インフルエンザへの抗インフルエンザウイルス薬の有効性の認知度

問16 新型インフルエンザに感染した時、治療薬としてタミフルなど抗インフルエンザウイルス薬による治療が有効とされていますが、ご存知でしたか。

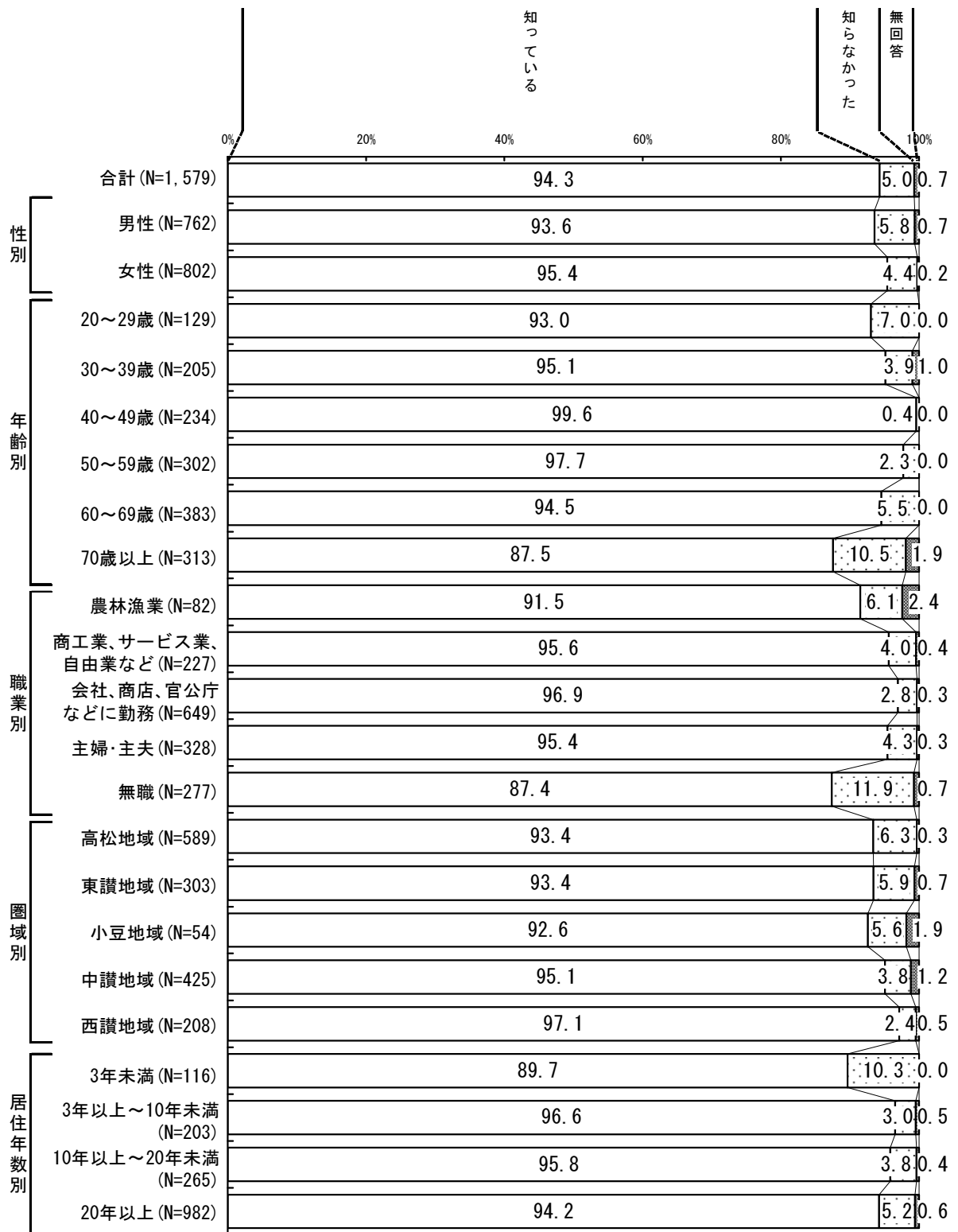
〔回答者数=1,579〕

1 知っている	94.3%
2 知らなかった	5.0%
(無回答)	0.7%

新型インフルエンザへの抗インフルエンザウイルス薬の有効性の認知度については、「知っている」が94.3%、「知らなかった」が5.0%となっている。



年齢別における70歳以上、職業別における無職、居住年数における3年未満では「知っている」が8割台と若干少なくなっているが、他の属性においては9割を超え多くなっている。



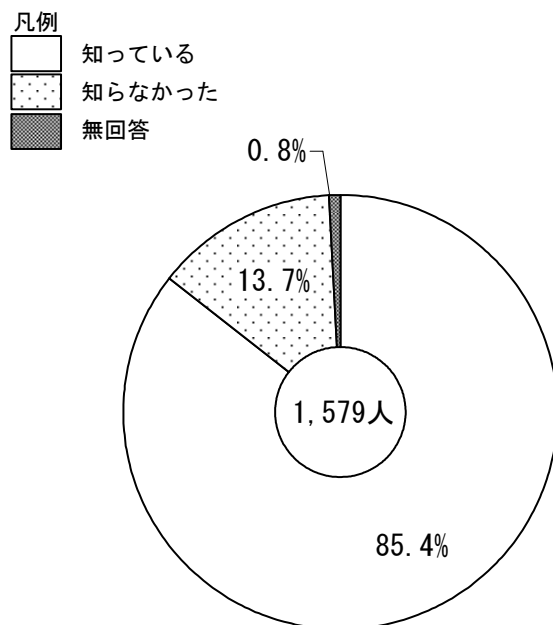
3) 新型インフルエンザの症状を発症した場合の受診方法の認知度

問17 新型インフルエンザの症状を発症した方は、事前に医療機関に連絡をしてから受診することとなっていますが、ご存知でしたか。

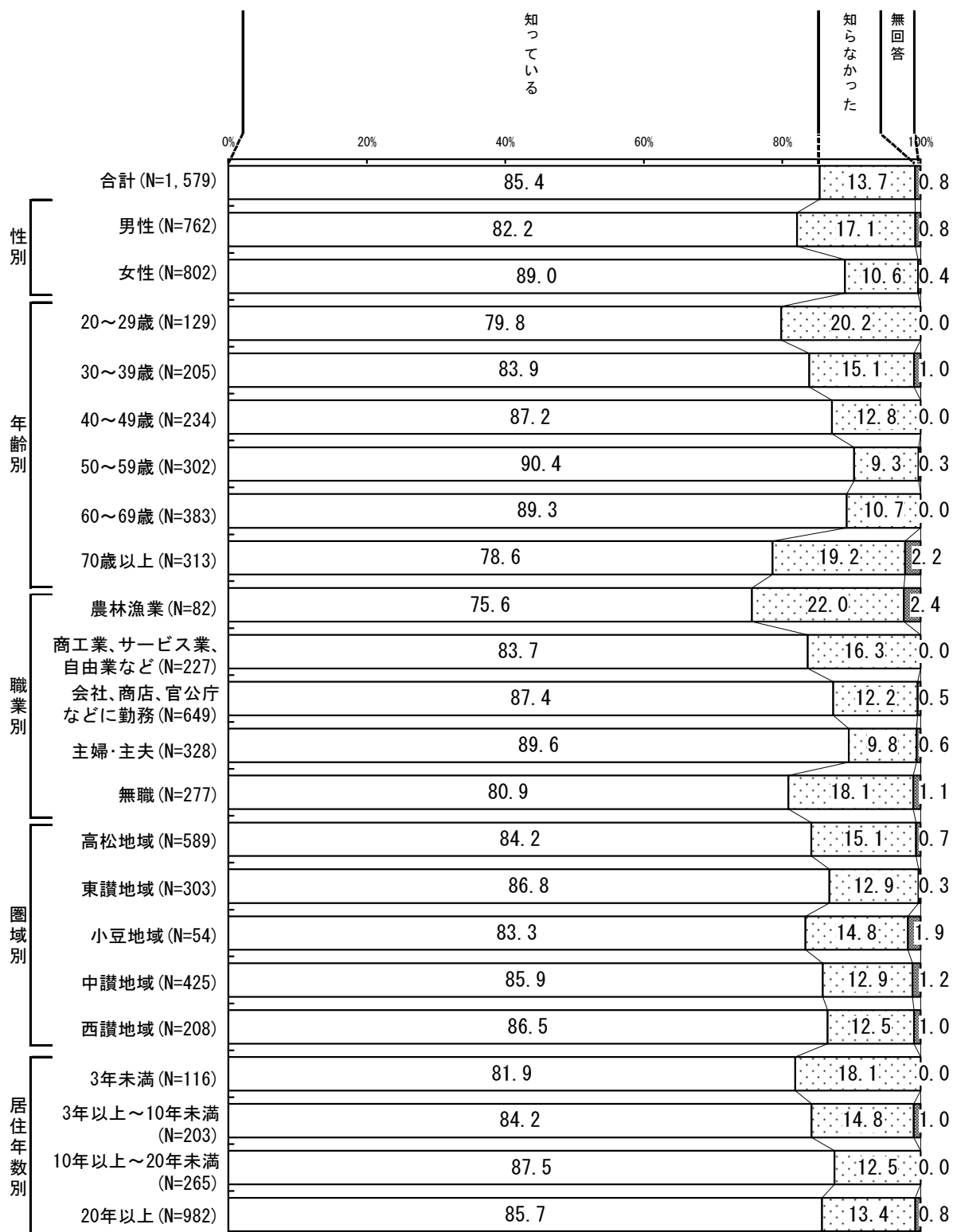
〔回答者数=1,579〕

1 知っている	85.4%
2 知らなかった	13.7%
(無回答)	0.8%

新型インフルエンザの症状を発症した場合の受診方法の認知度については、「知っている」が85.4%、「知らなかった」が13.7%となっている。



年齢別における20歳代と70歳以上、職業別の農林漁業では「知っている」が7割台と若干少なくなっているが、その他の属性においては8割を超え、多くなっている。



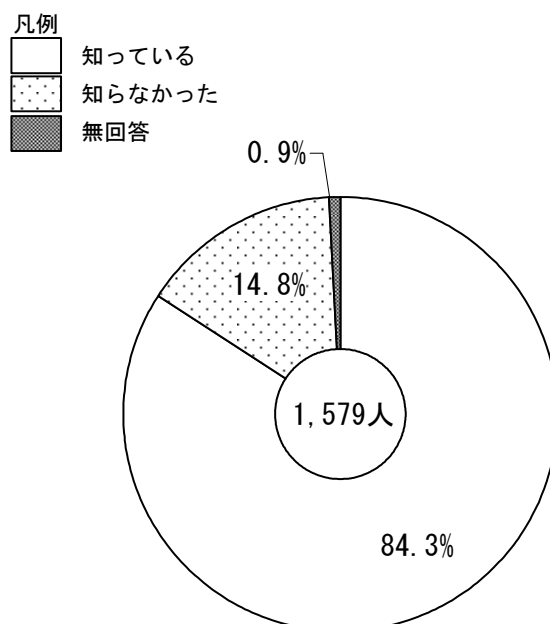
4) 新型インフルエンザと診断された場合の対処方法の認知度

問18 新型インフルエンザと診断された方で軽度の方は、自宅で療養することとなっていますが、ご存知でしたか。

〔回答者数=1,579〕

1 知っている	84.3%
2 知らなかった	14.8%
(無回答)	0.9%

新型インフルエンザと診断された場合の対処方法の認知度については、「知っている」が84.3%、「知らなかった」が14.8%となっている。

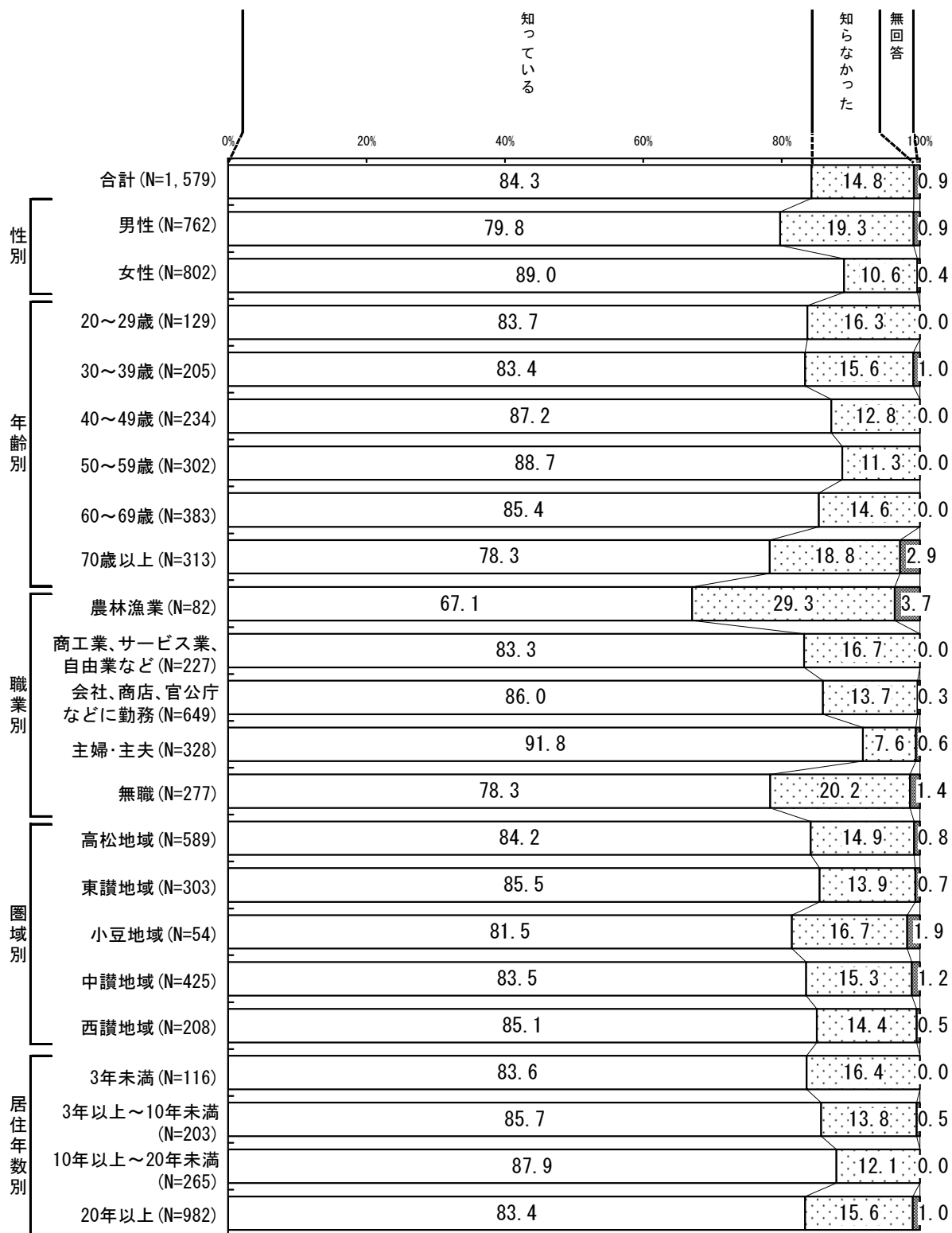


「知っている」においてみると、性別では男性が79.8%、女性が89.0%と女性の方が若干多くなっている。

年齢別では、70歳以上において8割を下回っているが、その他の年齢では8割を上回っている。

職業別では、農林漁業が67.1%、無職が78.3%となっており、その他の職業と比較すると相対的に少なくなっている。

圏域別と居住年数別では、すべての属性において8割台となっており、属性間の違いは少なくなっている。



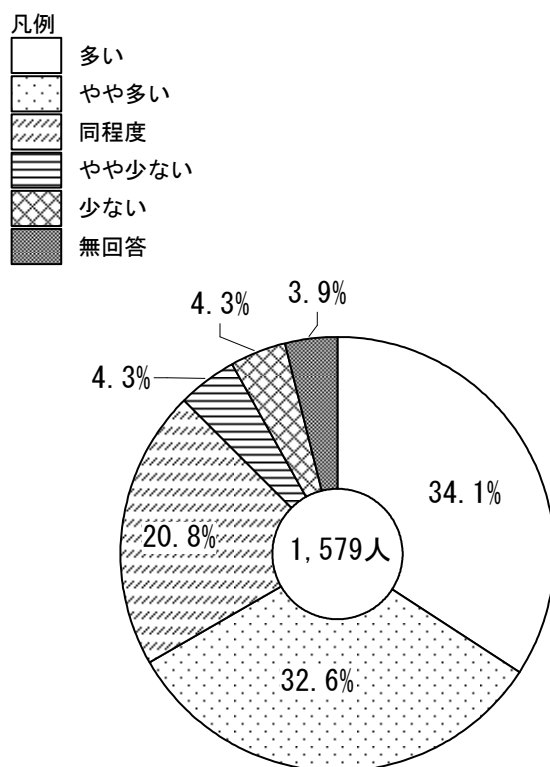
5) 新型インフルエンザの感染予防の実施：うがいや手洗い

問19-① 「うがいや手洗い」の実施頻度は、例年に比べどうでしたか。

〔回答者数=1,579〕

1	多い	34.1%
2	やや多い	32.6%
3	同程度	20.8%
4	やや少ない	4.3%
5	少ない	4.3%
	(無回答)	3.9%

新型インフルエンザの感染予防において、「うがいや手洗い」の実施については、例年と比較し実施頻度が「多い」が34.1%で最も多く、次いで「やや多い」が32.6%、「同程度」が20.8%となっている。

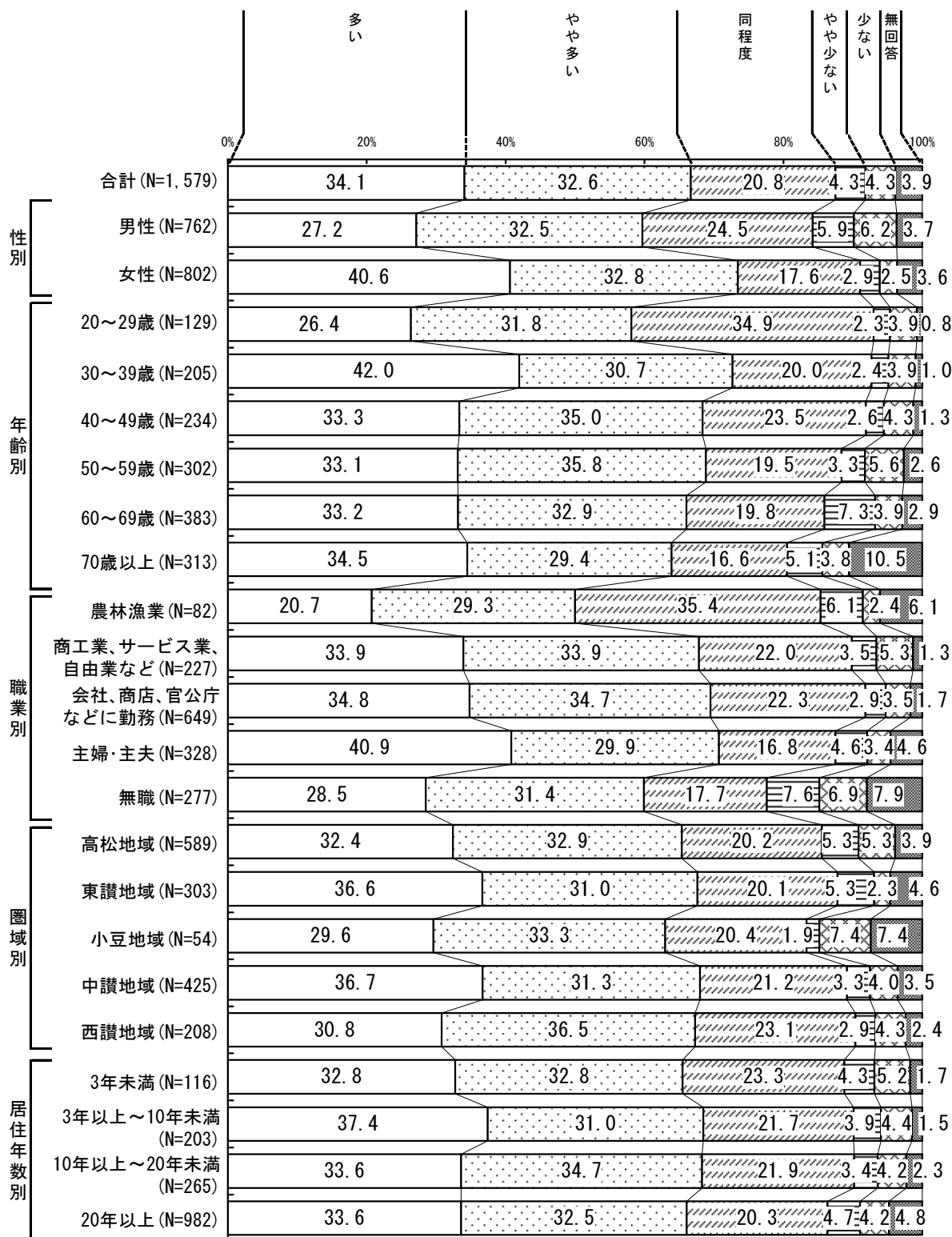


「多い」と「やや多い」をあわせると、性別では、男性が 59.7%、女性が 73.4%となっており、女性の方が多くなっている。

年齢別では、30 歳代が 72.7%と最も多く、20 歳代では 58.2%と最も少なくなっており、その他の年齢では6割台となっている。

職業別では、主婦・主夫が 70.8%と最も多く、農林漁業が 50.0%と最も少なくなっている。

圏域別及び居住年数別では、すべての圏域や居住年数で6割台となっており、大きな違いはみられない。



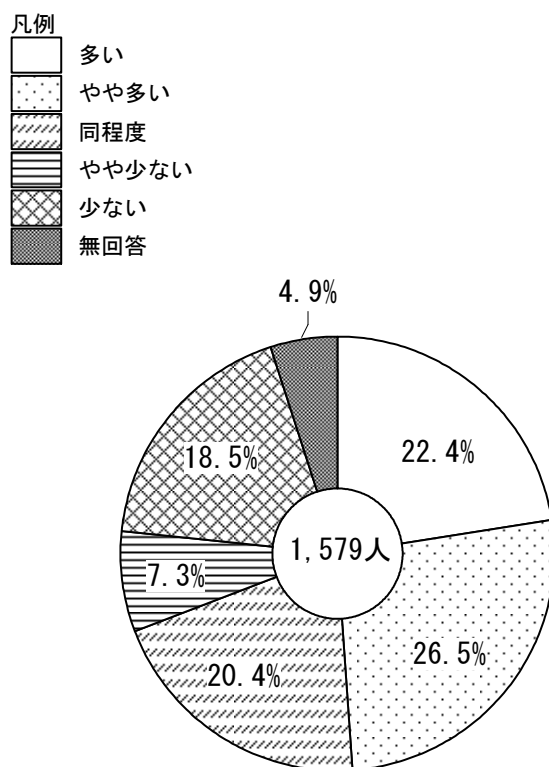
6) 新型インフルエンザの感染予防の実施：マスクの着用

問19-② 「マスクの着用」の実施頻度は、例年に比べてどうでしたか。

〔回答者数=1,579〕

1	多い	22.4%
2	やや多い	26.5%
3	同程度	20.4%
4	やや少ない	7.3%
5	少ない	18.5%
	(無回答)	4.9%

新型インフルエンザの感染予防において、「マスクの着用」の実施については、例年と比較し実施頻度が「やや多い」が26.5%で最も多く、次いで「多い」が22.4%、「同程度」が20.4%となっている。



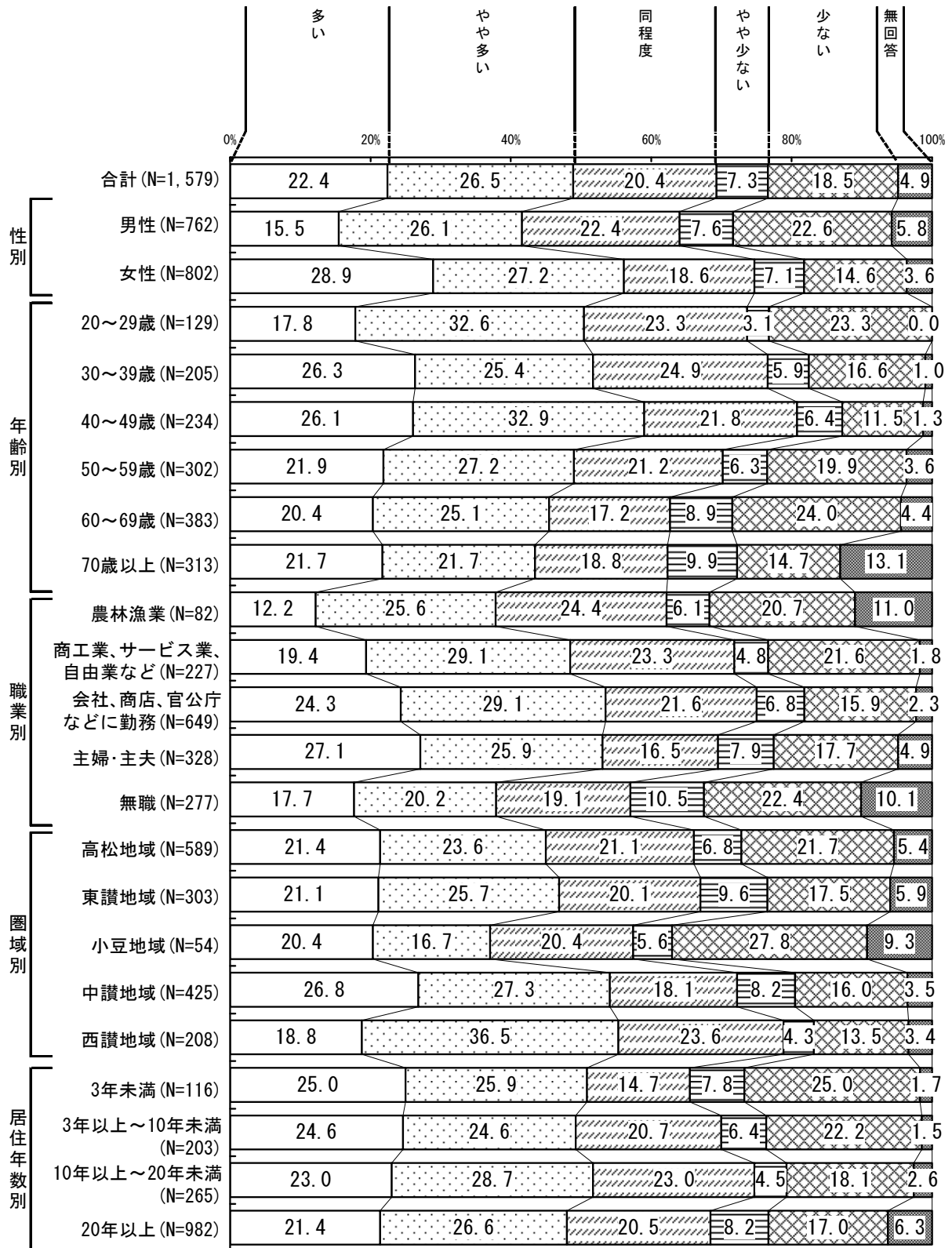
「多い」と「やや多い」をあわせると、性別では、男性が41.6%、女性が56.1%となっており、女性の方が多くなっている。

年齢別では、40歳代が59.0%と最も多く、40歳代以上でみると、年齢が上がるとともにマスクを着用しない割合が多くなっており、70歳以上では43.4%と少なくなっている。

職業別では、農林漁業が37.8%、無職が37.9%となっており、その他の職業と比較し、相対的に少なくなっている。

圏域別では、西讃地域が55.3%と最も多く、小豆地域が37.1%と最も少なくなっている。

居住年数別では、すべての居住年数で5割程度となっており、大きな違いはみられない。



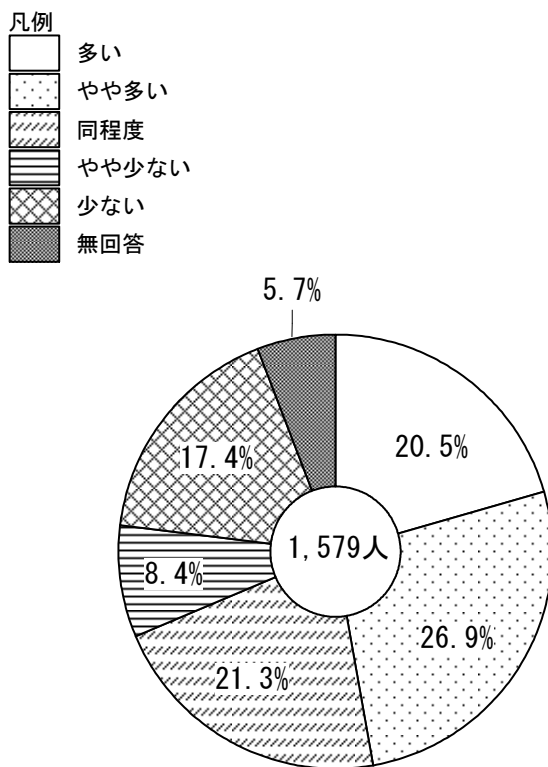
7) 新型インフルエンザの感染予防の実施：消毒液の使用

問19-③ 「消毒液の使用」の実施頻度は、例年に比べどうでしたか。

〔回答者数=1,579〕

1	多い	20.5%
2	やや多い	26.9%
3	同程度	21.3%
4	やや少ない	8.4%
5	少ない	17.4%
	(無回答)	5.7%

新型インフルエンザの感染予防において、「消毒液の使用」の実施については、例年と比較し実施頻度が「やや多い」が26.9%で最も多く、次いで「同程度」が21.3%、「多い」が20.5%となっている。



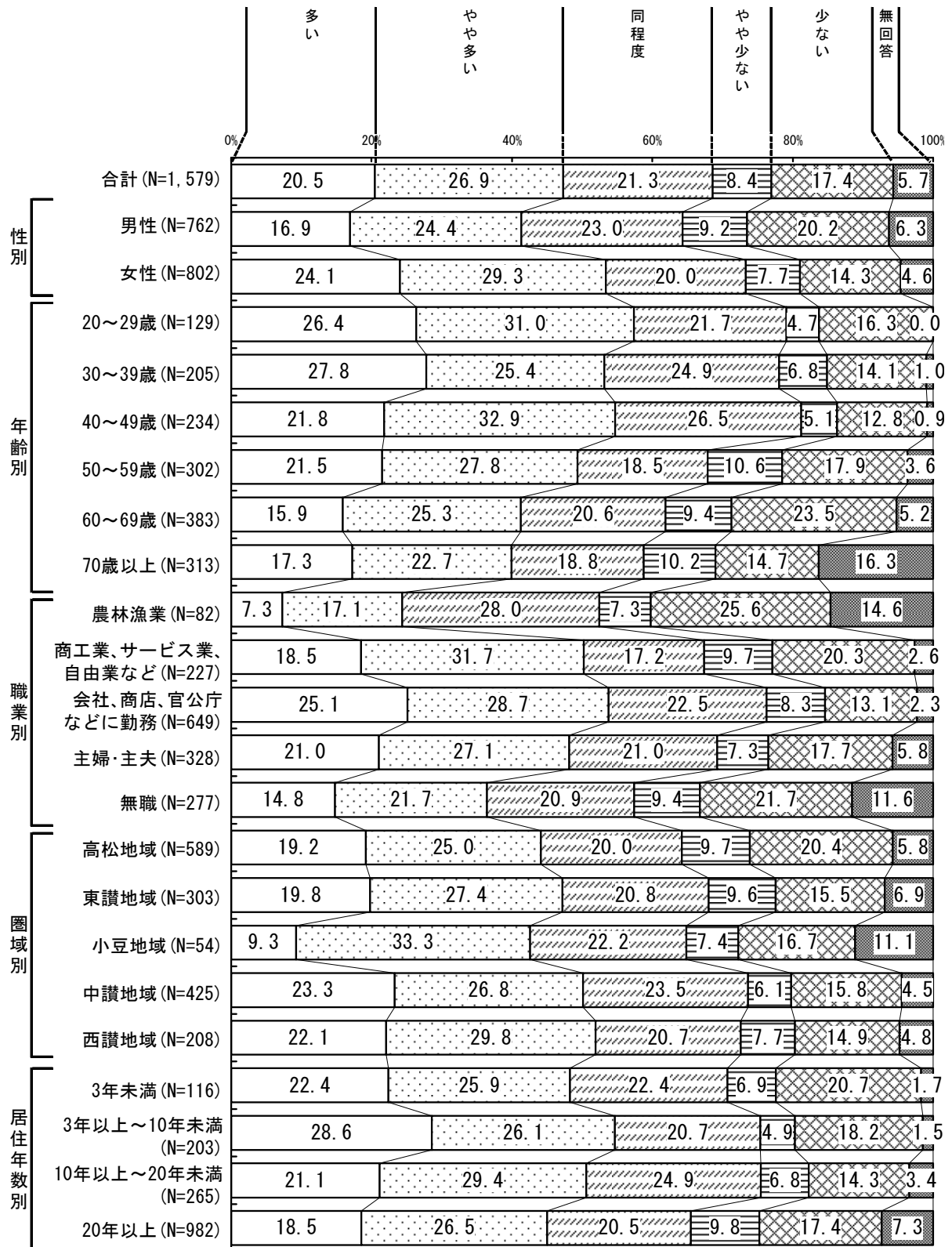
「多い」と「やや多い」をあわせると、性別では、男性が41.3%、女性が53.4%となっており、女性の方が多くなっている。

年齢別では、40歳代以下では5割台、50歳代以上では4割台と、年齢が上がるとともに消毒液の使用が少なくなっている。

職業別では、農林漁業が24.4%、無職が36.5%となっており、その他の職業と比較し、相対的に少なくなっている。

圏域別では、小豆地域において「多い」が9.3%となっており、その他の圏域と比較して少なくなっている。

居住年数別では、3年以上10年未満が54.7%と最も多くなっており、他の居住年数と比較して若干多くなっている。



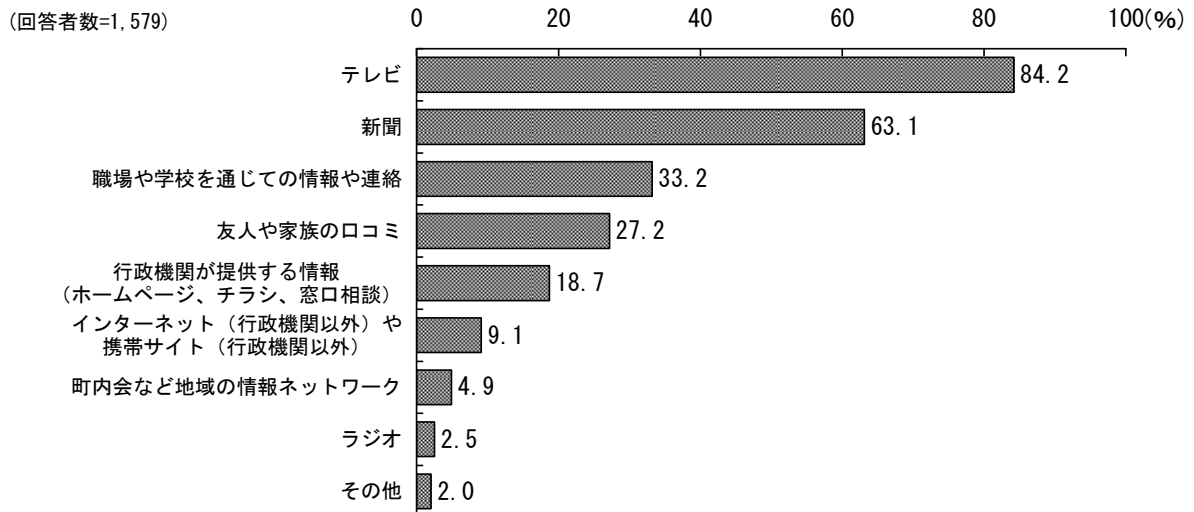
8) 新型インフルエンザに関する情報の入手先

問20 あなたは、これまでの設問にあった新型インフルエンザに関する情報をどのような情報源から多く入手していましたか。次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=1,579]

1	テレビ	84.2%
2	新聞	63.1%
3	職場や学校を通じての情報や連絡	33.2%
4	友人や家族のロコミ	27.2%
5	行政機関が提供する情報（ホームページ、チラシ、窓口相談）	18.7%
6	インターネット（行政機関以外）や携帯サイト（行政機関以外）	9.1%
7	町内会など地域の情報ネットワーク	4.9%
8	ラジオ	2.5%
9	その他	2.0%

新型インフルエンザに関する情報の入手先については、「テレビ」が84.2%で最も多く、次いで「新聞」が63.1%、「職場や学校を通じての情報や連絡」が33.2%となっている。



すべての属性において、「テレビ」が最も多く、農林漁業の76.8%をのぞいて8割を超え、多くなっている。

「行政機関が提供する情報」をみると、職業別では農林漁業が25.6%と最も多くなっている。一方、年齢別でみると20歳代においては1割を下回っており、他の年齢層と比較して少なくなっている。

(単位：%)

区 分		回答者数(人)	テレビ	新聞	職場や学校を通じての情報や連絡	友人や家族の口コミ	行政機関が提供する情報(ホームページ、チラシ、窓口相談)	インターネット(行政機関以外)や携帯サイト(行政機関以外)	町内会など地域の情報ネットワーク	ラジオ	その他
合 計		1,579	84.2	63.1	33.2	27.2	18.7	9.1	4.9	2.5	2.0
性別	男性	762	80.3	59.2	33.9	23.1	18.1	11.4	3.5	3.1	1.4
	女性	802	88.3	66.8	32.9	31.0	19.6	7.0	6.1	2.0	2.5
年齢別	20～29歳	129	93.8	40.3	55.0	41.9	9.3	24.0	0.8	2.3	0.8
	30～39歳	205	87.8	48.3	58.5	31.2	13.7	20.5	2.0	2.9	2.0
	40～49歳	234	82.5	64.5	51.3	19.2	21.4	12.4	0.9	2.1	1.3
	50～59歳	302	84.4	69.5	38.1	19.2	20.9	7.9	3.0	2.0	1.3
	60～69歳	383	83.0	70.8	20.6	29.8	20.9	4.2	5.0	3.9	2.9
	70歳以上	313	81.2	65.2	5.8	29.1	19.8	0.3	13.1	1.6	2.6
職業別	農林漁業	82	76.8	57.3	13.4	24.4	25.6	2.4	8.5	2.4	1.2
	商工業、サービス業、自由業など	227	82.8	59.5	26.4	34.8	15.9	9.3	4.0	2.6	2.6
	会社、商店、官公庁などに勤務	649	84.7	59.9	56.5	22.0	17.4	13.3	1.5	2.8	1.2
	主婦・主夫	328	89.0	73.5	17.1	31.7	22.9	5.5	7.9	2.1	2.4
	無職	277	81.6	62.8	10.5	28.9	18.1	5.8	8.7	2.5	2.9
圏域別	高松地域	589	81.8	62.8	30.7	26.3	19.5	10.0	4.4	2.4	2.2
	東讃地域	303	84.5	65.7	28.7	24.1	19.8	10.2	4.6	3.3	1.3
	小豆地域	54	88.9	61.1	29.6	31.5	13.0	3.7	9.3	0.0	3.7
	中讃地域	425	85.9	61.9	36.0	28.5	18.4	7.3	6.8	3.1	2.1
	西讃地域	208	85.6	63.0	41.8	30.8	17.3	9.6	1.9	1.4	1.9
居住年数別	3年未満	116	92.2	51.7	49.1	32.8	17.2	19.8	2.6	5.2	0.0
	3年以上～10年未満	203	84.2	55.7	47.3	31.0	15.3	13.8	3.0	2.0	1.5
	10年以上～20年未満	265	87.5	65.3	42.6	23.0	19.6	14.0	1.9	3.0	1.5
	20年以上	982	82.6	65.3	26.2	26.9	19.6	5.6	6.3	2.2	2.4

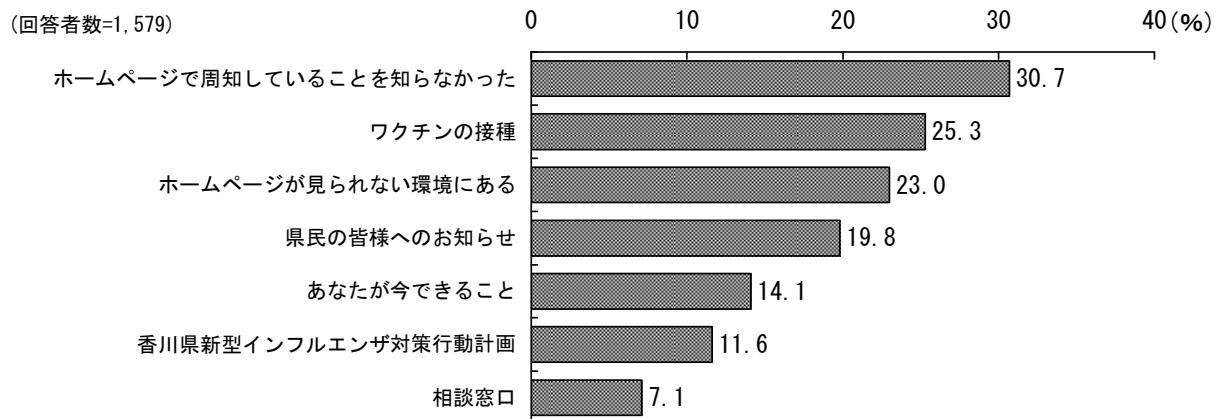
9) 県ホームページでの感染予防策の周知について

問21 県では、県民の方への感染予防策を周知するため、新型インフルエンザへの対応や流行状況など下記の項目の内容をホームページで周知していましたが、どの項目が役に立ちましたか。次の中からすべて選んでください。

[回答者数=1,579]

1	ホームページで周知していることを知らなかった	30.7%
2	ワクチンの接種	25.3%
3	ホームページが見られない環境にある	23.0%
4	県民の皆様へのお知らせ	19.8%
5	あなたが今できること	14.1%
6	香川県新型インフルエンザ対策行動計画	11.6%
7	相談窓口	7.1%

県ホームページでの感染予防の周知において役立つ情報については、「ワクチンの接種」が25.3%となっているが、「ホームページで周知していることを知らなかった」が30.7%、「ホームページが見られない環境にある」が23.0%と多くなっている。



性別でみると、男性、女性ともに「ホームページで周知していることを知らなかった」が最も多く、次いで「ワクチンの接種」となっており、全体の傾向と同様になっている。

年齢別でみると、60歳代以上では「ホームページが見られない環境にある」が他の年齢と比較して相対的に多くなっているが、50歳代以下では「ホームページで周知していることを知らなかった」が多くなっている。

職業別でみると、農林漁業と主婦・主夫、無職では「ホームページが見られない環境にある」が最も多く、その他の職業では「ホームページで周知していることを知らなかった」が最も多くなっている。

圏域別でみると、東讃地域は「ホームページが見られない環境にある」が最も多く、小豆地域では「ワクチンの接種」が、その他の地域では「ホームページで周知していることを知らなかった」が最も多くなっている。

居住年数別でみると、20年未満では「ホームページで周知していることを知らなかった」が、20年以上では「ホームページが見られない環境にある」が最も多くなっている。

(単位：%)

区 分		回答者数(人)	ホームページで周知していることを知らなかった	ワクチンの接種	ホームページが見られない環境にある	県民の皆様へのお知らせ	あなたが今できること	香川県新型コロナウイルス対策行動計画	相談窓口
合 計		1,579	30.7	25.3	23.0	19.8	14.1	11.6	7.1
性別	男性	762	32.0	23.5	21.1	19.7	14.4	11.5	8.5
	女性	802	29.7	27.1	24.7	20.1	14.0	11.7	5.7
年齢別	20～29歳	129	55.8	21.7	9.3	11.6	16.3	9.3	6.2
	30～39歳	205	49.8	22.4	15.1	10.2	11.2	4.4	6.8
	40～49歳	234	42.3	24.8	12.4	14.5	21.4	12.8	8.1
	50～59歳	302	39.4	19.9	20.2	17.9	13.6	10.3	7.9
	60～69歳	383	20.1	22.5	34.2	23.2	14.6	13.3	6.0
	70歳以上	313	4.2	37.7	30.7	31.3	9.9	15.7	7.3
職業別	農林漁業	82	17.1	28.0	30.5	24.4	11.0	9.8	4.9
	商工業、サービス業、自由業など	227	35.2	26.9	22.9	16.7	13.2	11.5	5.7
	会社、商店、官公庁などに勤務	649	41.6	22.8	15.9	16.5	16.3	10.5	8.8
	主婦・主夫	328	22.3	29.3	29.6	22.9	14.3	13.4	4.9
	無職	277	15.9	24.5	29.6	25.6	10.5	13.0	7.6
圏域別	高松地域	589	30.9	26.0	20.9	22.1	13.4	11.7	7.1
	東讃地域	303	25.4	25.4	26.4	22.1	15.5	11.2	6.6
	小豆地域	54	24.1	31.5	22.2	14.8	11.1	7.4	9.3
	中讃地域	425	31.8	24.2	24.7	17.4	14.6	12.5	7.1
	西讃地域	208	37.0	23.6	20.7	16.3	13.9	11.1	7.2
居住年数別	3年未満	116	44.8	23.3	15.5	18.1	13.8	7.8	8.6
	3年以上～10年未満	203	42.4	24.6	18.2	12.8	13.8	7.9	7.9
	10年以上～20年未満	265	39.2	24.9	17.0	15.1	15.8	13.2	7.5
	20年以上	982	24.4	25.8	26.5	22.8	13.8	12.4	6.6

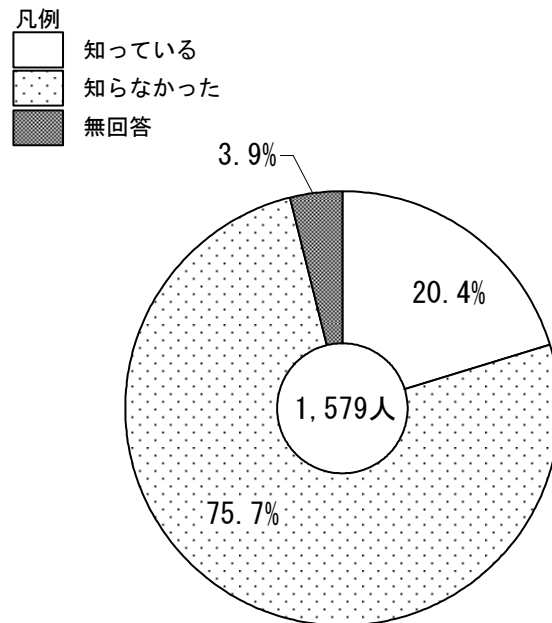
10) 香川県新型インフルエンザ対策行動計画の見直しの認知度

問22 県では、新型インフルエンザが発生したときに備え「香川県新型インフルエンザ対策行動計画」を平成21年9月に見直して主な対応方針を決定しましたが、ご存知でしたか。

〔回答者数=1,579〕

1 知っている	20.4%
2 知らなかった	75.7%
(無回答)	3.9%

香川県新型インフルエンザ対策行動計画の見直しの認知度については、「知らなかった」が75.7%、「知っている」が20.4%となっている。



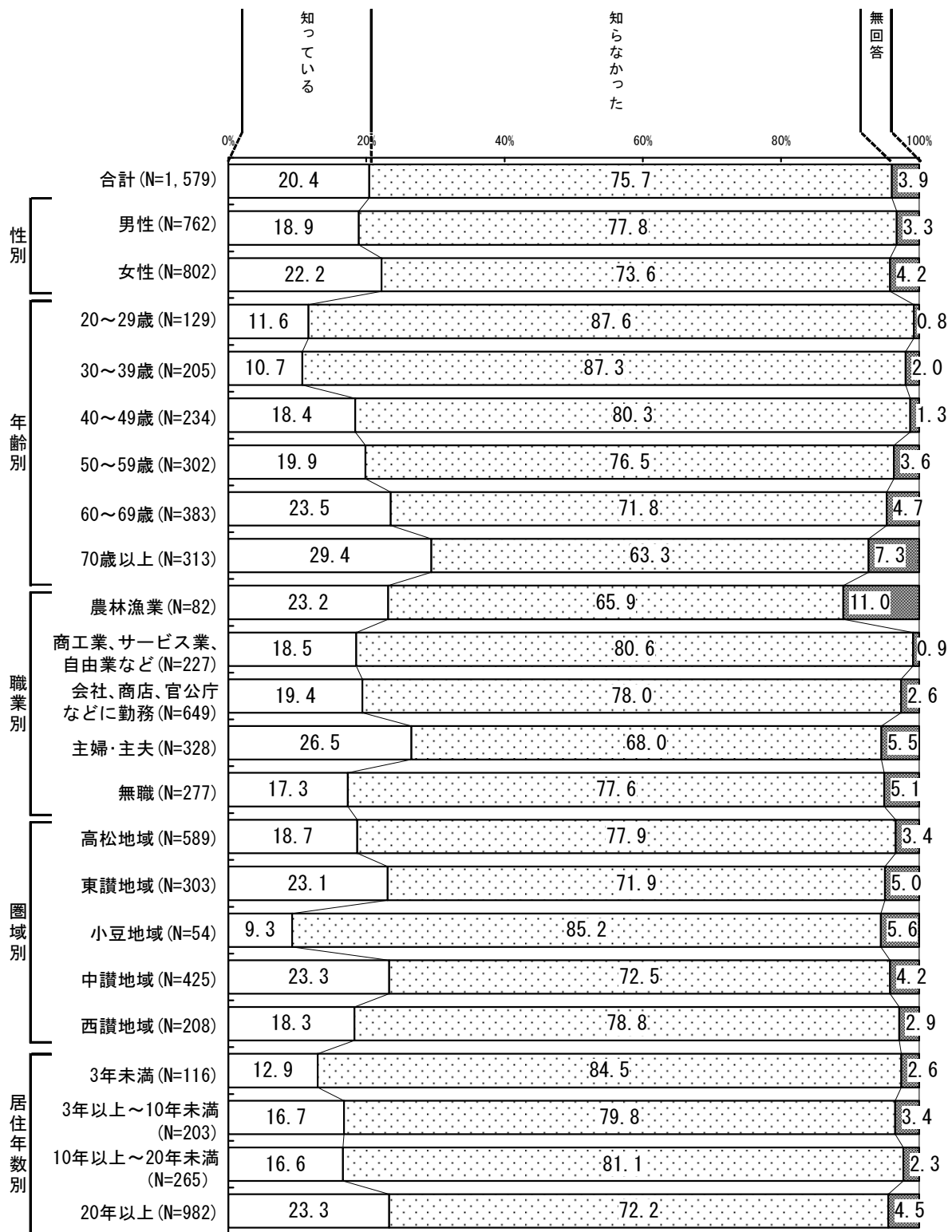
「知っている」において、性別で見ると、男性は18.9%、女性は22.2%となっており、女性の方が若干多くなっている。

年齢別では、30歳代が10.7%と最も少なく、30歳代以上においては、年齢が上がるとともに「知っている」の割合が多くなっている。

職業別では、農林漁業と主婦・主夫において2割を超えているが、その他の職業では1割台となっている。

圏域別では、小豆地域において1割を下回っているが、その他の圏域では2割程度となっている。

居住年数別では、20年以上において2割を超えており、他の居住年数と比較して相対的に多くなっている。



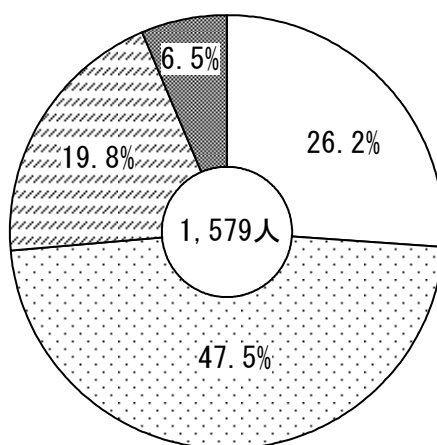
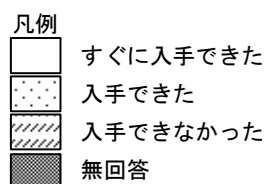
11) 新型インフルエンザの特性等に関する新規情報の入手状況①

問23-① 平成21年4月にメキシコ、アメリカで新型インフルエンザが発生したことに
ついて、情報を入手できましたか。

[回答者数=1,579]

1	すぐに入手できた	26.2%
2	入手できた	47.5%
3	入手できなかった	19.8%
	(無回答)	6.5%

メキシコ、アメリカで新型インフルエンザが発生した時の情報の入手状況については、「入手できた」が47.5%で最も多く、次いで「すぐに入手できた」が26.2%、「入手できなかった」が19.8%となっている。



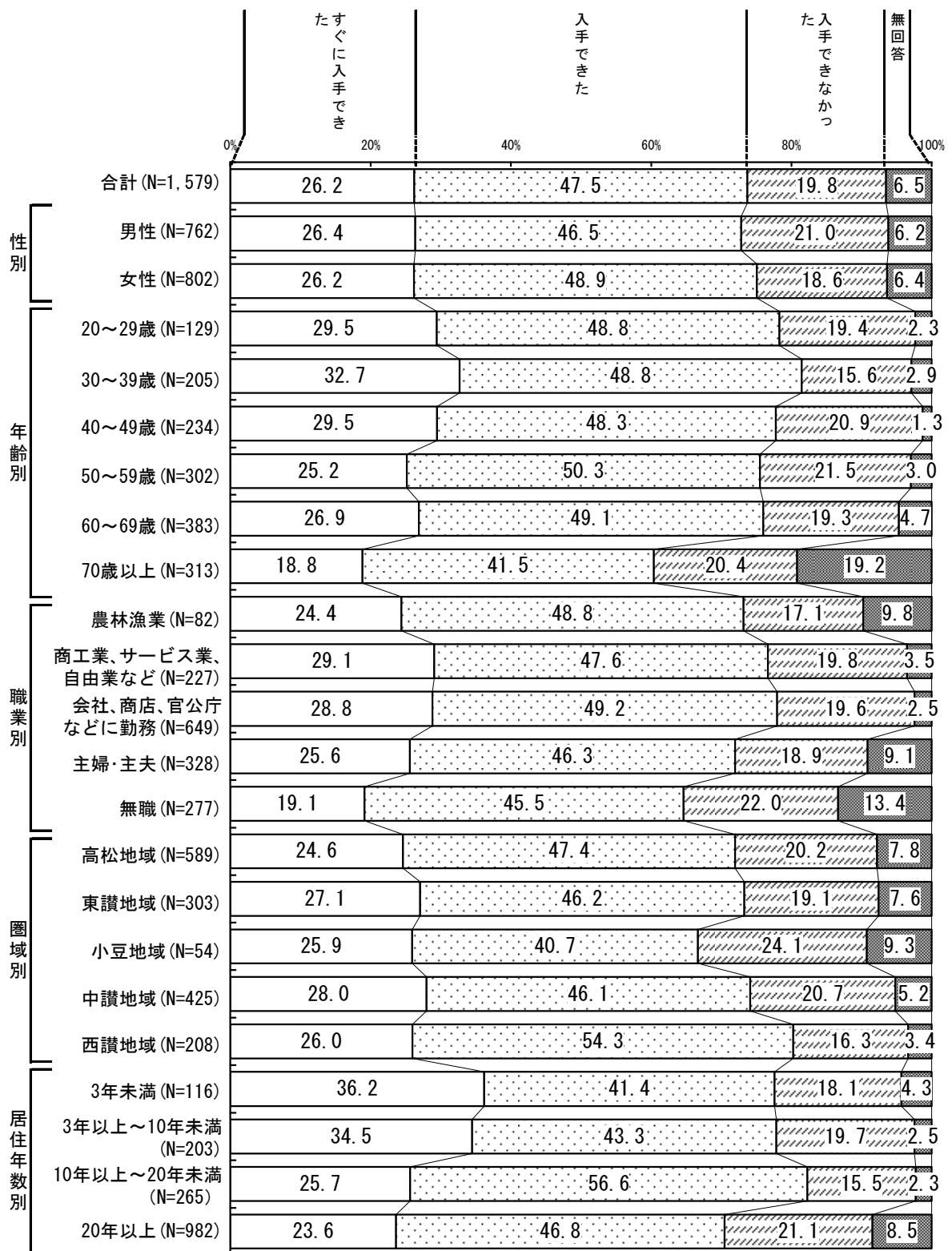
性別で見ると、男性、女性ともに全体と同じ傾向になっており、性別による大きな違いはみられない。

「入手できた」と「すぐに入手できた」を合わせると、年齢別において、30歳代では8割を超え最も多く、70歳以上では6割台と最も少なく、その他の年齢では7割台となっている。

職業別では、無職が6割台と最も少なく、その他の職業では7割台となっている。

圏域別では、すべての圏域で6割を超えており、特に西讃地域では8割を超え、相対的に多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数において7割を超えている。「すぐに入手できた」をみると、居住年数が少なくなるとともに、割合が多くなっている。



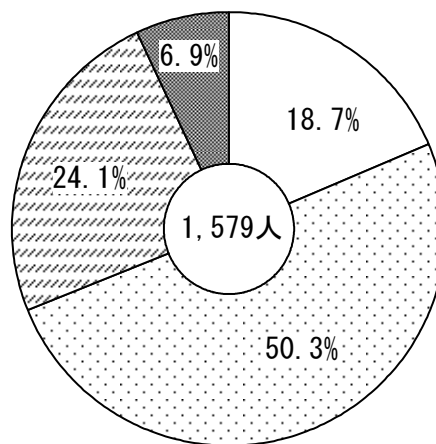
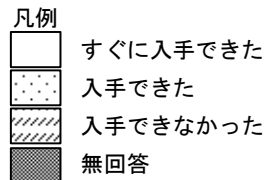
12) 新型インフルエンザの特性等に関する新規情報の入手状況②

問23-② 5月22日に新型インフルエンザの特性は、季節性インフルエンザに類似しているとして対応方針を変更したことについて、情報を入手できましたか。

[回答者数=1,579]

1	すぐに入手できた	18.7%
2	入手できた	50.3%
3	入手できなかった	24.1%
	(無回答)	6.9%

新型インフルエンザの特性が季節性インフルエンザに類似していると対応方針を変更した時の情報の入手状況については、「入手できた」が50.3%で最も多く、次いで「入手できなかった」が24.1%、「すぐに入手できた」が18.7%となっている。



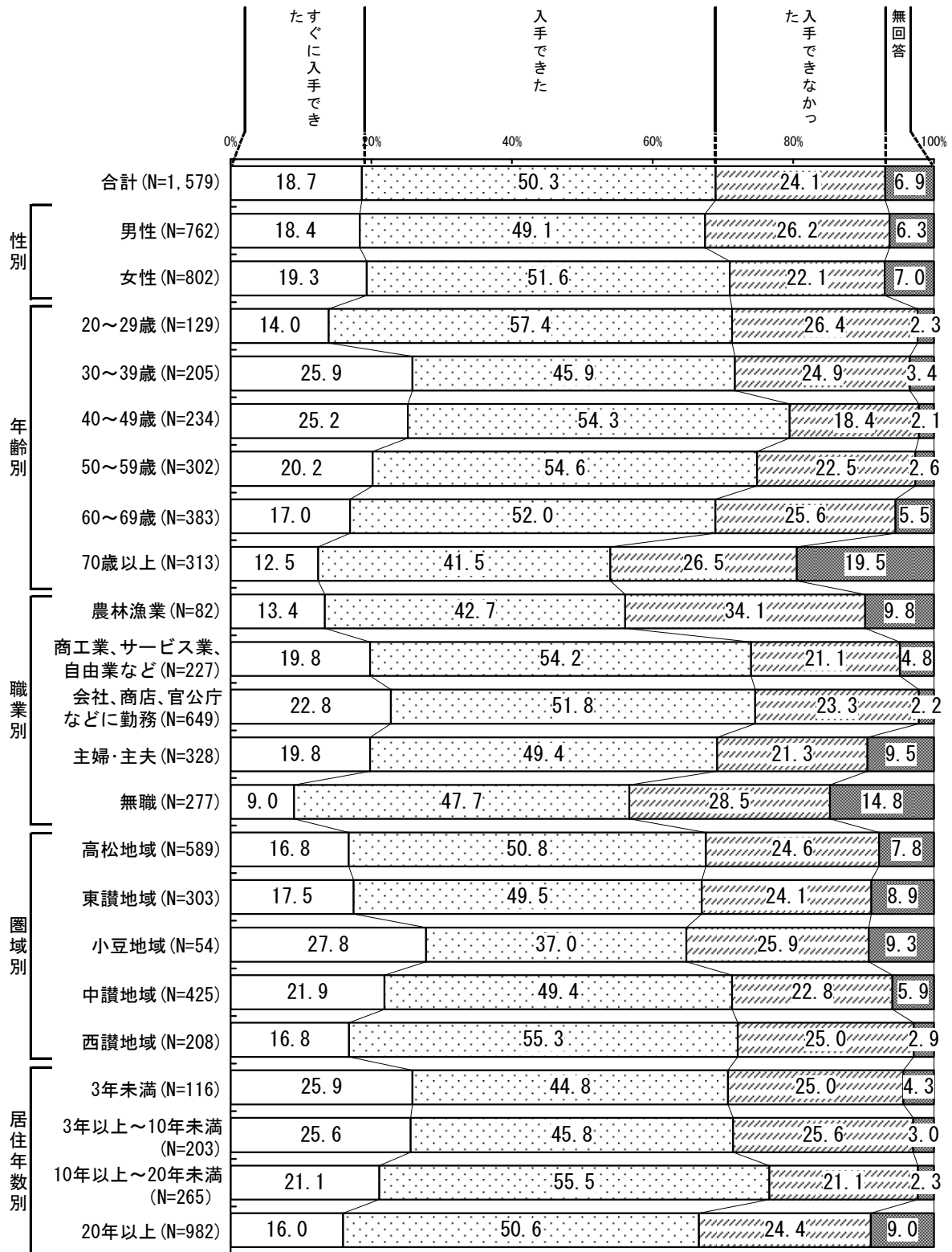
性別で見ると、男性、女性ともに全体と同じ傾向になっているが、男性の方が「入手できなかった」において、女性よりも若干多くなっている。

「入手できた」と「すぐに入手できた」を合わせると、年齢別において、40歳代では79.5%と最も多く、70歳以上では54.0%と最も少なくなっている。

職業別では、農林漁業と無職が5割台と少なくなっており、その他の職業では6割を超えて多くなっている。

圏域別では、小豆地域で最も少なくなっているが、「すぐに入手できた」においては3割近くになっており、その他の圏域よりも多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数において6割を超えている。「すぐに入手できた」をみると、居住年数が少なくなるとともに、割合が多くなっている。



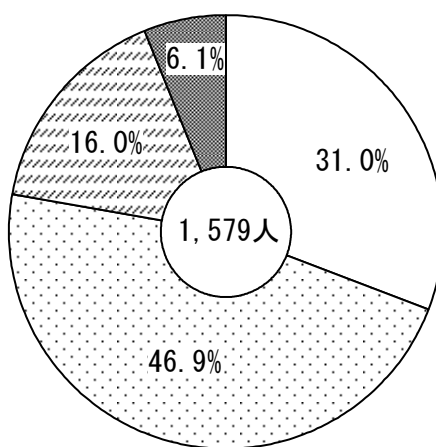
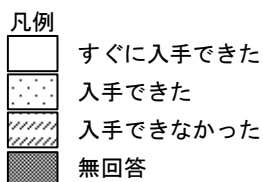
13) 新型インフルエンザの特性等に関する新規情報の入手状況③

問23-③ 6月21日に本県ではじめての新型インフルエンザの感染患者を確認したことについて、情報を入手できましたか。

[回答者数=1,579]

1	すぐに入手できた	31.0%
2	入手できた	46.9%
3	入手できなかった	16.0%
	(無回答)	6.1%

本県ではじめて新型インフルエンザの感染患者を確認したときの情報の入手状況については、「入手できた」が46.9%で最も多く、次いで「すぐに入手できた」が31.0%、「入手できなかった」が16.0%となっている。



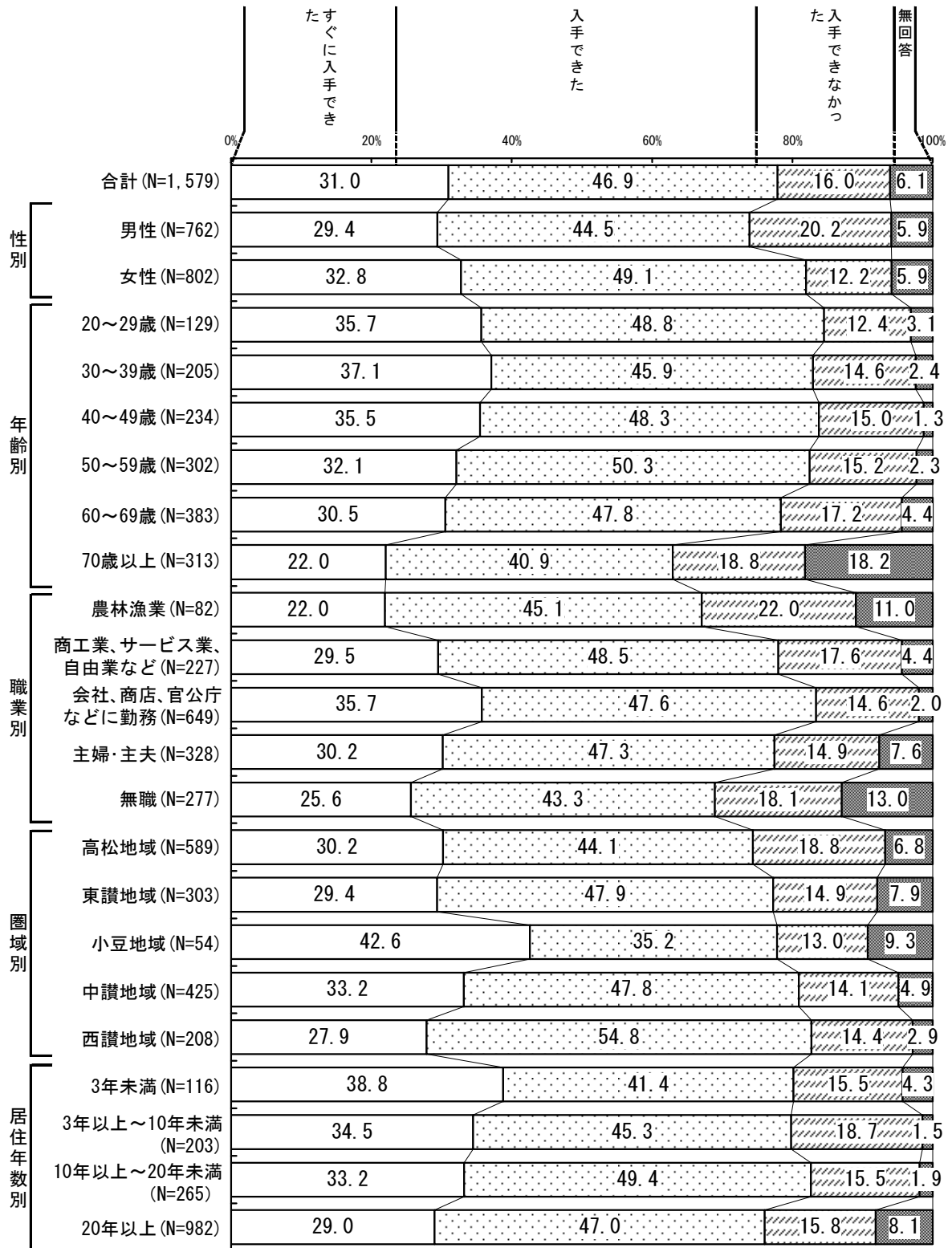
「入手できた」と「すぐに入手できた」を合わせると、性別において、男性が73.9%、女性が81.9%となっており、女性の方が男性よりも多くなっている。

年齢別では、70歳以上が6割と最も少なくなっているが、その他の年齢では7割を超えて多くなっている。

職業別では、農林漁業が67.1%と最も少なくなっており、会社・商店・官公庁などに勤務が83.3%と最も多くなっている。

圏域別では、すべての圏域で7割を超えて多くなっており、小豆地域では「すぐに入手できた」が42.6%となっており、その他の圏域と比較して多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数において7割を超えている。「すぐに入手できた」をみると、居住年数が少なくなるとともに、割合が多くなっている。



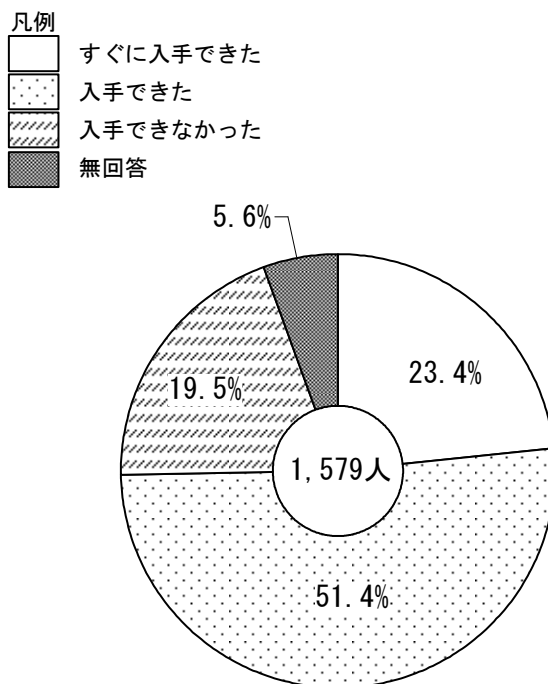
14) 新型コロナウイルスの特性等に関する新規情報の入手状況④

問23-④ 7月24日から全ての医療機関で診療できるようになったことについて、情報を入手できましたか。

[回答者数=1,579]

1	すぐに入手できた	23.4%
2	入手できた	51.4%
3	入手できなかった	19.5%
	(無回答)	5.6%

全ての医療機関で診療できるようになった時の情報の入手状況については、「入手できた」が51.4%で最も多く、次いで「すぐに入手できた」が23.4%、「入手できなかった」が19.5%となっている。



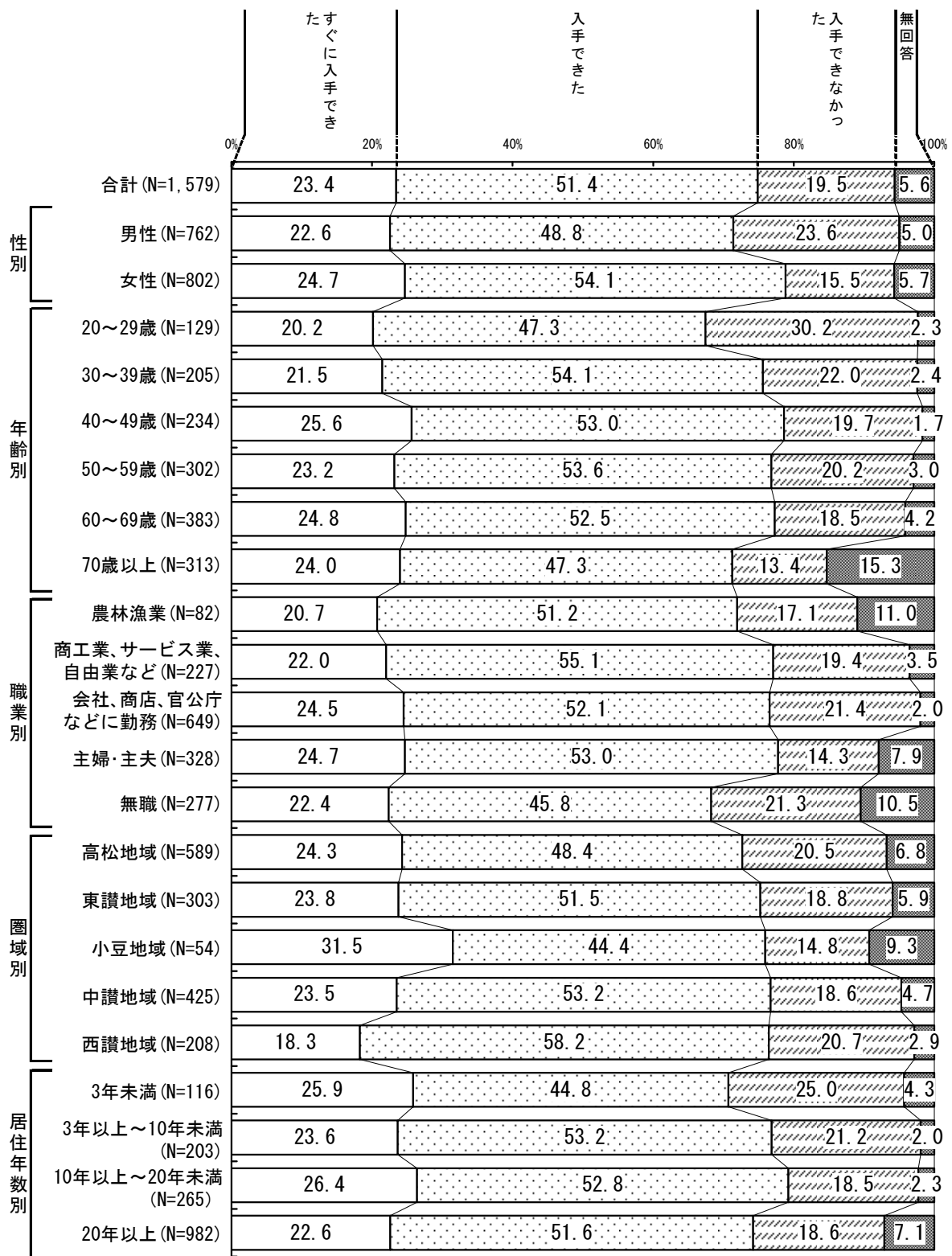
「入手できた」と「すぐに入手できた」を合わせると、性別において、男性が71.4%、女性が78.8%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、すべての年齢で6割を超えており、20歳代では67.5%と最も少なく、40歳代では78.6%と最も多くなっている。

職業別では、すべての職業で6割を超えており、無職では68.2%と最も少なく、主婦・主夫では77.7%と最も多くなっている。

圏域別では、すべての圏域で7割を超えて多くなっており、小豆地域では「すぐに入手できた」が31.5%となっており、その他の圏域と比較して多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数において7割を超えており、3年未満では70.7%と最も少なく、10年以上から20年未満では79.2%と最も多くなっている。



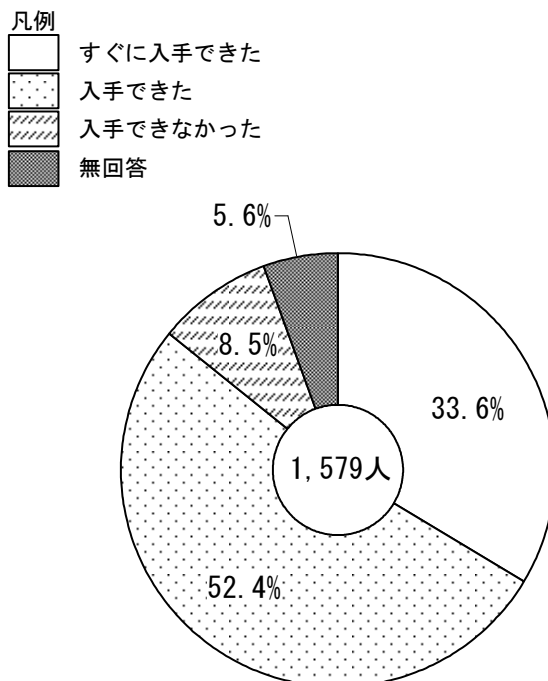
15) 新型コロナウイルスの特性等に関する新規情報の入手状況⑤

問23-⑤ 10月下旬からワクチンの接種が段階的に開始されたことについて、情報を入手できましたか。

[回答者数=1,579]

1	すぐに入手できた	33.6%
2	入手できた	52.4%
3	入手できなかった	8.5%
	(無回答)	5.6%

ワクチン接種が段階的に開始された時の情報の入手状況については、「入手できた」が52.4%で最も多く、次いで「すぐに入手できた」が33.6%、「入手できなかった」が8.5%となっている。



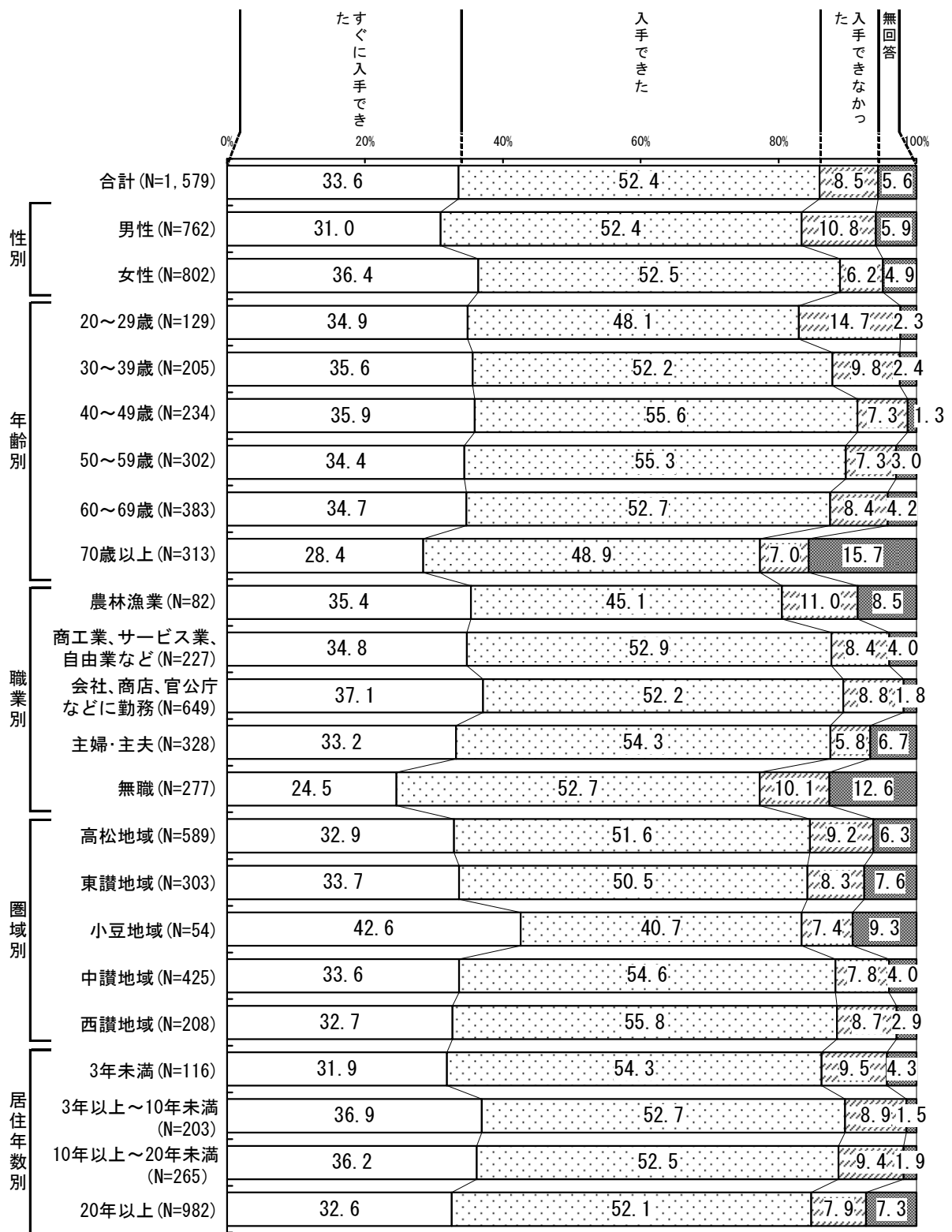
「入手できた」と「すぐに入手できた」を合わせると、性別において、男性が83.4%、女性が88.9%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、70歳以上で77.3%となっているが、その他の年齢では8割を超えて多くなっている。

職業別では、すべての職業で7割を超えて多くなっており、無職では77.2%と最も少なく、会社・商店・官公庁などに勤務では89.3%と最も多くなっている。

圏域別では、すべての圏域で8割を超えて多くなっており、小豆地域では「すぐに入手できた」が42.6%となっており、その他の圏域と比較して多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数において8割を超えており、20年以上では84.7%と最も少なく、3年以上から10年未満では89.6%と最も多くなっている。



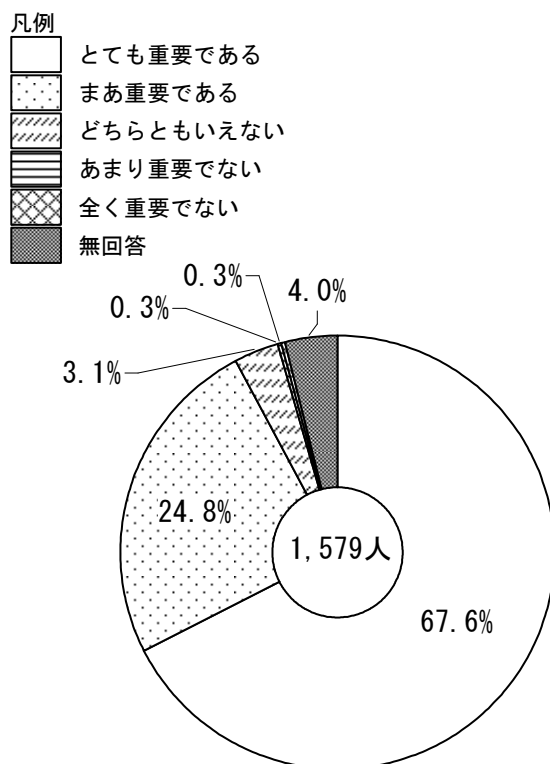
16) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと①

問24-① 新型インフルエンザの特性（病原性や人にうつる期間など）に関する情報提供の重要度について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	67.6%
2	まあ重要である	24.8%
3	どちらともいえない	3.1%
4	あまり重要でない	0.3%
5	全く重要でない	0.3%
	(無回答)	4.0%

新型インフルエンザの特性に関する情報提供の重要度についてみると、「とても重要である」が67.6%で最も多く、次いで「まあ重要である」が24.8%、「どちらともいえない」が3.1%となっている。



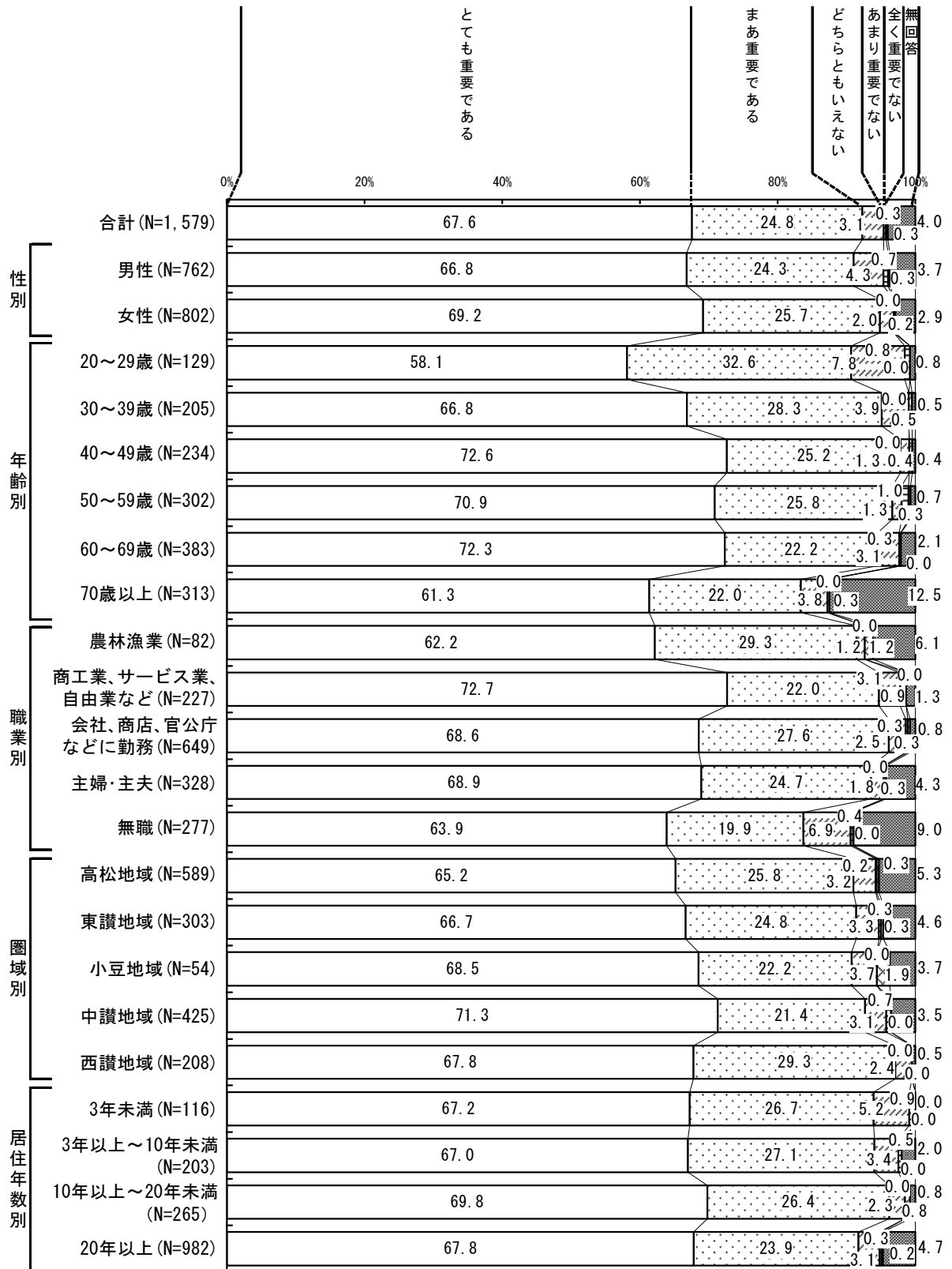
「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が91.1%、女性が94.9%となっており、性別による違いは大きくない。

年齢別では、70歳以上では83.3%と8割台となっているが、その他の年齢では9割を超えて多くなっている。

職業別では、無職において83.8%と8割台となっているが、その他の職業では9割を超えて多くなっている。

圏域別では、すべての圏域で9割を超えて多くっており、特に西讃地域では、97.1%と多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数で9割台となっており、居住年数間による違いは大きくない。



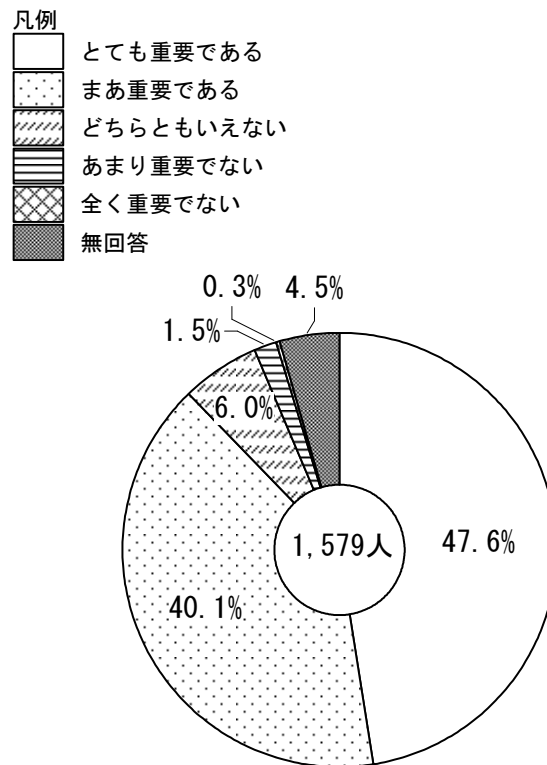
17) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと②

問24-② 普段からできる新型インフルエンザ感染予防策（手洗いやうがいの方法、感染者の看護の方法）の周知の重要度について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	47.6%
2	まあ重要である	40.1%
3	どちらともいえない	6.0%
4	あまり重要でない	1.5%
5	全く重要でない	0.3%
	(無回答)	4.5%

新型インフルエンザ感染予防策の周知の重要度についてみると、「とても重要である」が47.6%で最も多く、次いで「まあ重要である」が40.1%、「どちらともいえない」が6.0%となっている。



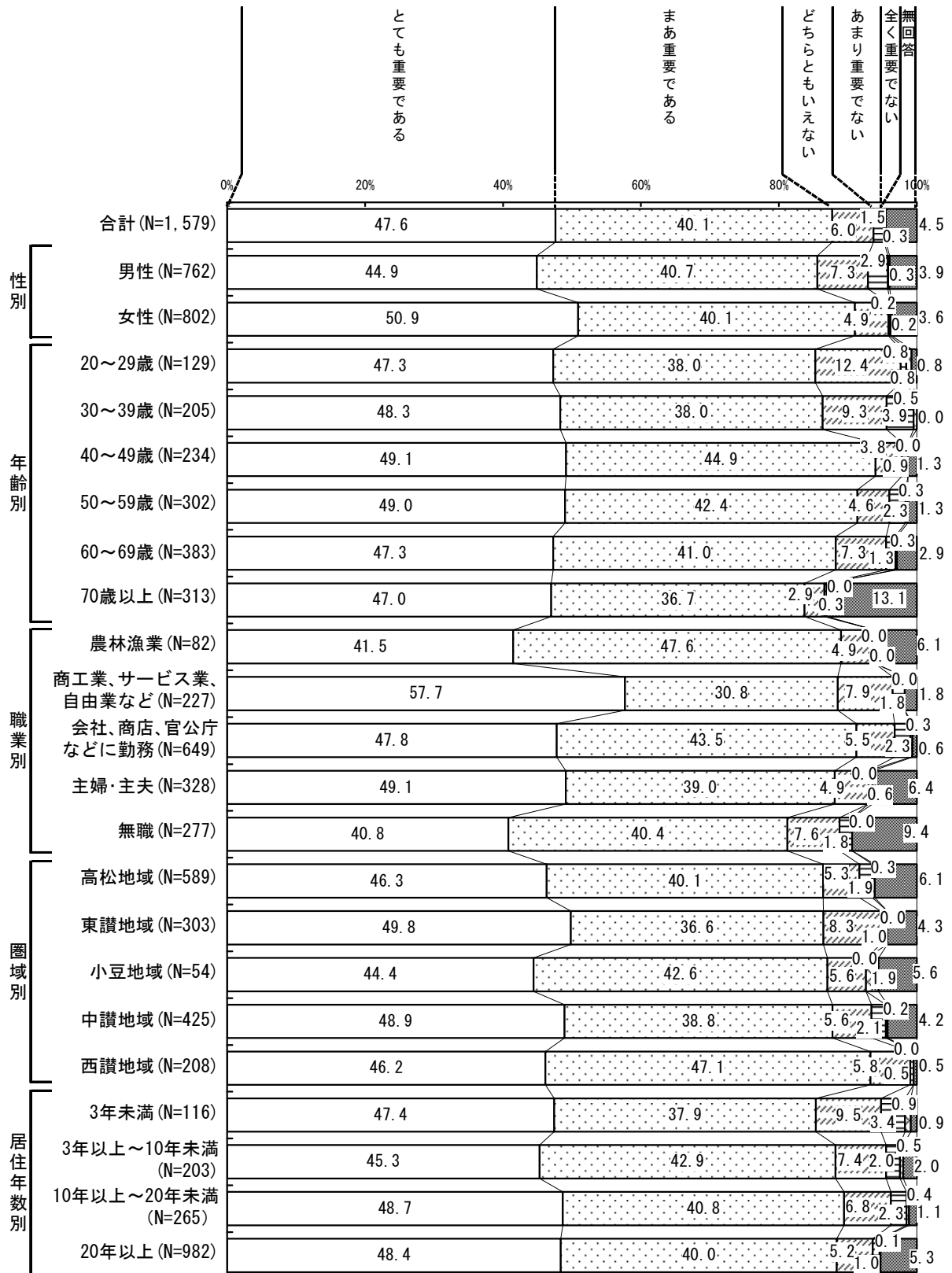
「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が85.6%、女性が91.0%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、すべての年齢で8割を超えて多くっており、70歳以上では83.7%と最も少なく、40歳代では94.0%と最も多くなっている。

職業別では、会社・商店、官公庁などに勤務において91.3%と9割台となっているが、その他の職業では8割台となっている。

圏域別では、すべての圏域で8割を超えて多くっており、特に西讃地域では、93.3%と多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数で8割台となっており、居住年数間による違いは大きくない。



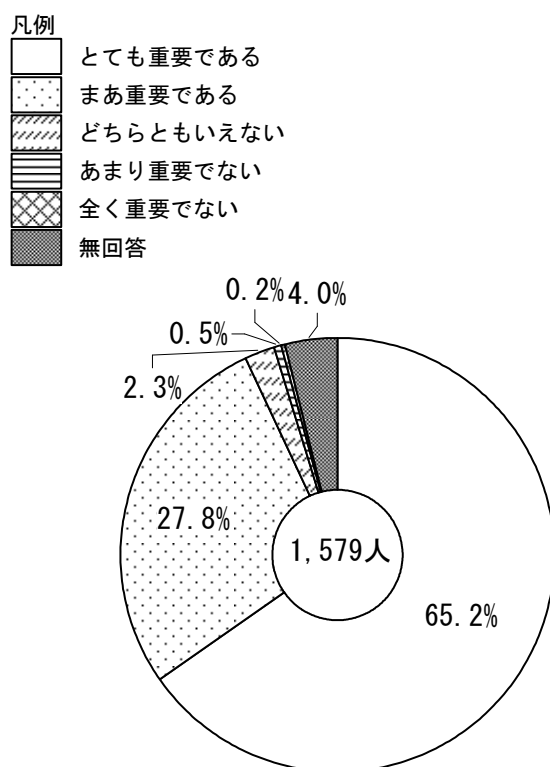
18) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと③

問24-③ 受診や入院のできる医療機関の情報提供の重要度についてあて、はまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	65.2%
2	まあ重要である	27.8%
3	どちらともいえない	2.3%
4	あまり重要でない	0.5%
5	全く重要でない	0.2%
	(無回答)	4.0%

新型インフルエンザで受診や入院のできる医療機関の情報提供の重要度についてみると、「とても重要である」が65.2%で最も多く、次いで「まあ重要である」が27.8%、「どちらともいえない」が2.3%となっている。



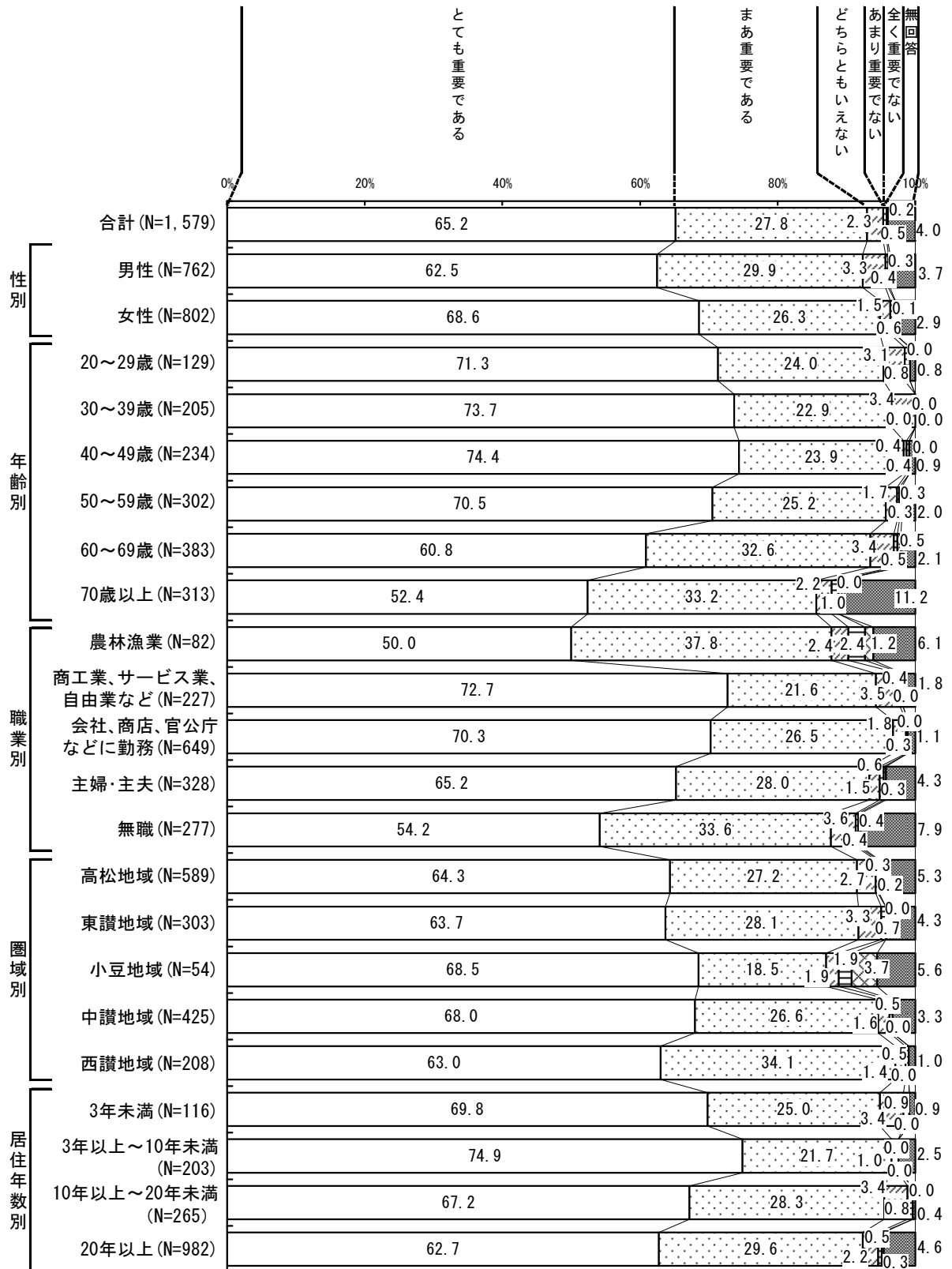
「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が92.4%、女性が94.9%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、70歳以上において85.6%と8割台となっているが、その他の年齢では9割台となっている。

職業別では、すべての職業で8割を超えて多くなっており、無職では87.8%と最も少なく、会社・商店・官公庁などに勤務では96.8%と最も多くなっている。

圏域別では、小豆地域において87.0%と8割台となっているが、その他の圏域では9割台となっている。

居住年数別では、すべての居住年数で9割台となっており、居住年数間による違いは大きい。



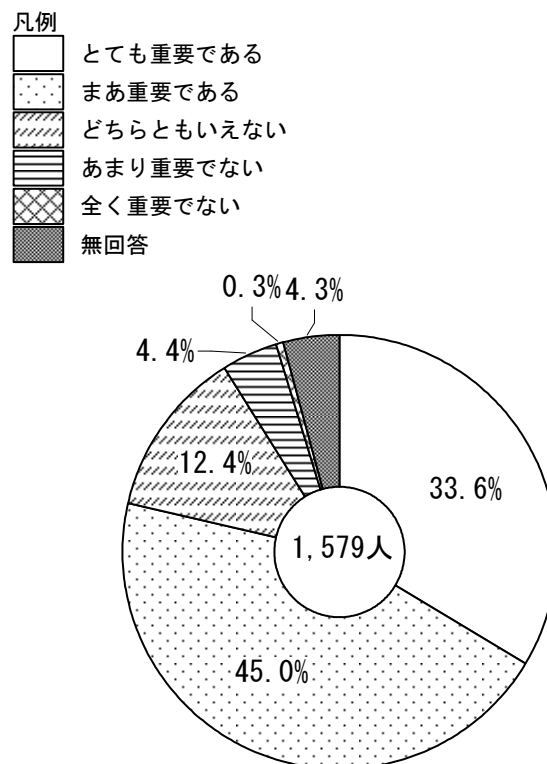
19) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと④

問24-④ 新型インフルエンザが発生した場合の施設やイベントの休止状況の情報提供の重要度について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	33.6%
2	まあ重要である	45.0%
3	どちらともいえない	12.4%
4	あまり重要でない	4.4%
5	全く重要でない	0.3%
	(無回答)	4.3%

新型インフルエンザが発生した場合の施設やイベントの休止状況の情報提供の重要度については、「まあ重要である」が45.0%で最も多く、次いで「とても重要である」が33.6%、「どちらともいえない」が12.4%となっている。



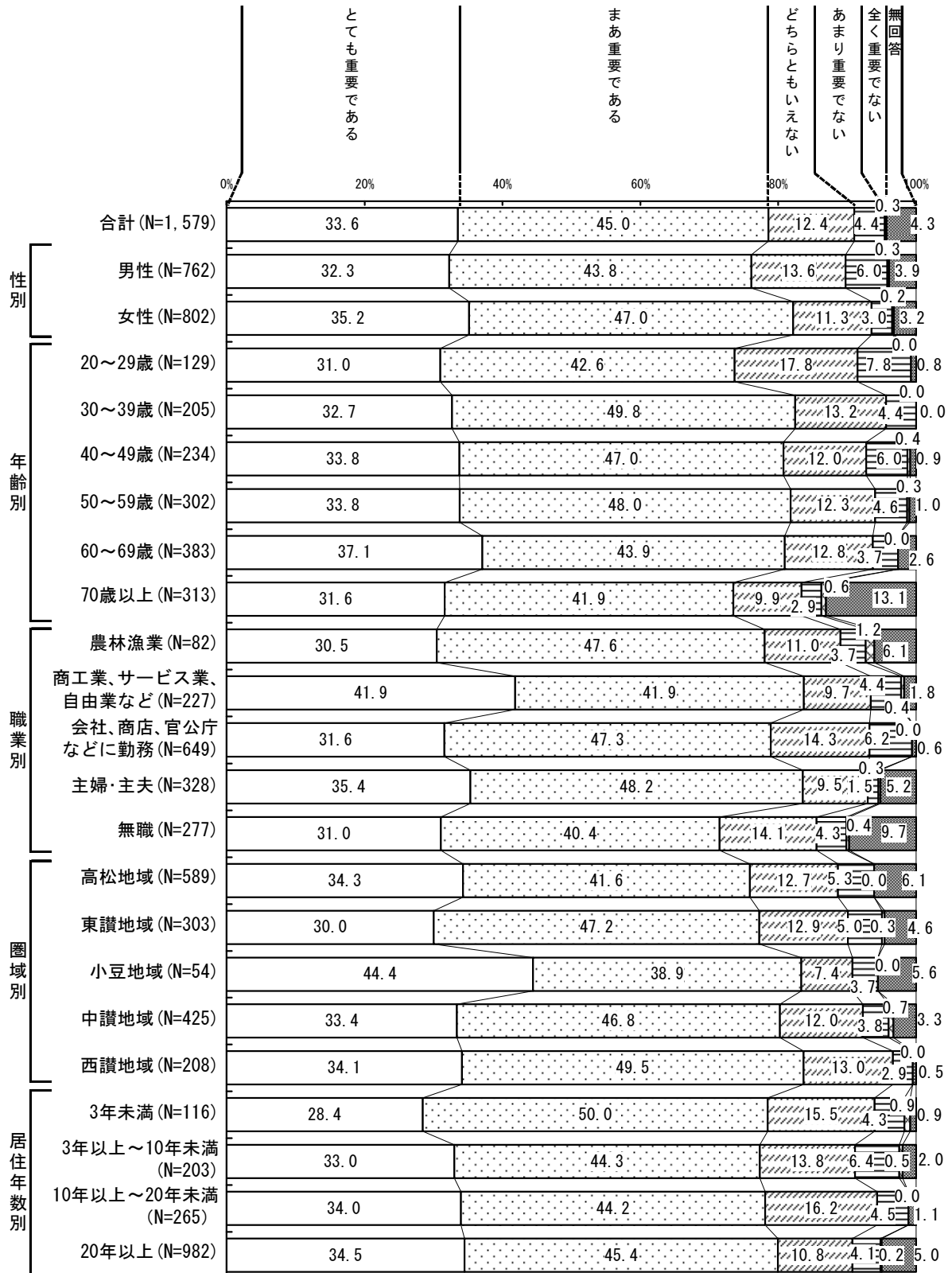
「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が76.1%、女性が82.2%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、すべての年齢で7割を超えており、70歳以上で73.5%と最も少なく、30歳代では82.5%と最も多くなっている。

職業別では、すべての職業で7割を超えて多くなっており、無職では71.4%と最も少なく、商工業・サービス業・自由業などでは83.8%と最も多くなっている。

圏域別では、すべての圏域で7割を超えて多くっており、高松地域では75.9%と最も少なく、西讃地域では83.6%と最も多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数で7割台となっており、居住年数間による違いは大きくない。



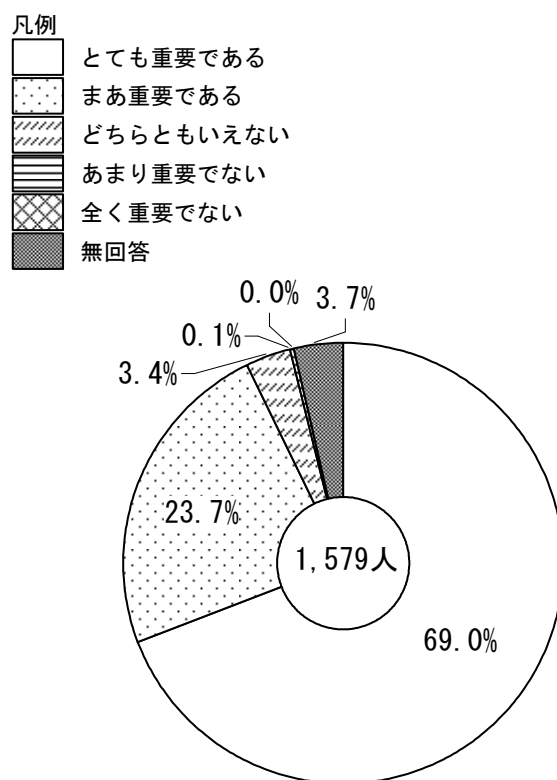
20) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと⑤

問24-⑤ ワクチンの確保とワクチン接種実施医療機関の充実の重要度について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	69.0%
2	まあ重要である	23.7%
3	どちらともいえない	3.4%
4	あまり重要でない	0.1%
5	全く重要でない	0.0%
	(無回答)	3.7%

新型インフルエンザのワクチンの確保とワクチン接種実施医療機関の充実の重要度については、「とても重要である」が69.0%で最も多く、次いで「まあ重要である」が23.7%、「どちらともいえない」が3.4%となっている。



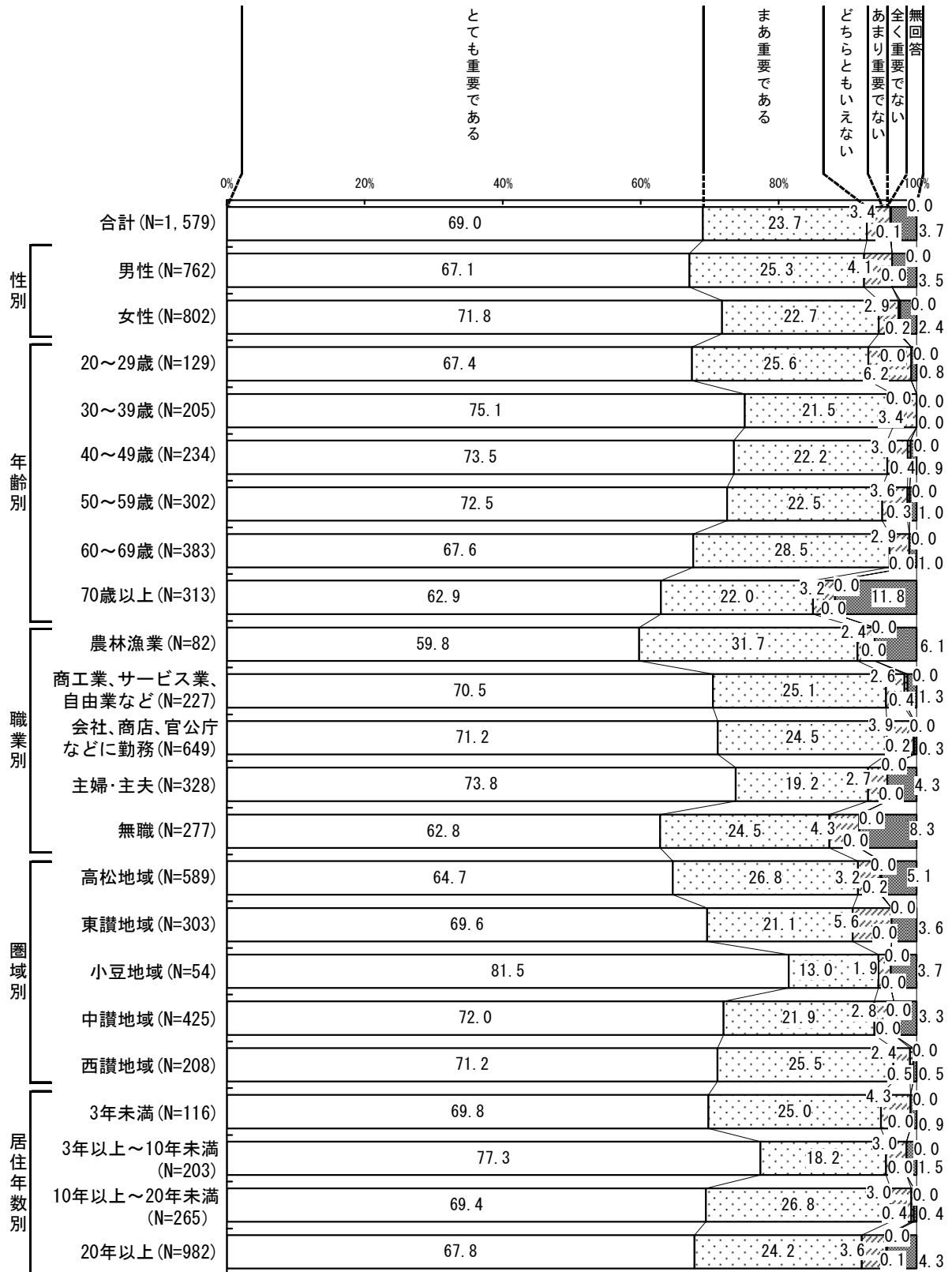
「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が92.4%、女性が94.5%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、70歳以上において84.9%と8割台となっているが、その他の年齢では9割台となっている。

職業別では、無職において87.3%と8割台となっているが、その他の職業では9割台となっている。

圏域別では、すべての圏域で9割を超えて多くっており、特に西讃地域では96.7%と最も多くなっている。

居住年数別では、すべての居住年数で9割を超えて多くっており、特に10年以上から20年未満では96.2%と最も多くなっている。



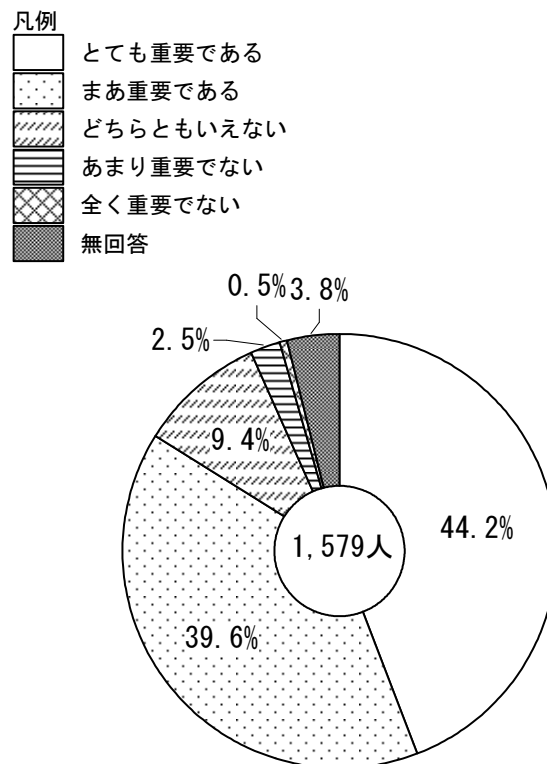
21) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと⑥

問24-⑥ マスクや消毒液の確保の重要度について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	44.2%
2	まあ重要である	39.6%
3	どちらともいえない	9.4%
4	あまり重要でない	2.5%
5	全く重要でない	0.5%
	(無回答)	3.8%

マスクや消毒液の確保の重要度については、「とても重要である」が44.2%で最も多く、次いで「まあ重要である」が39.6%、「どちらともいえない」が9.4%となっています。



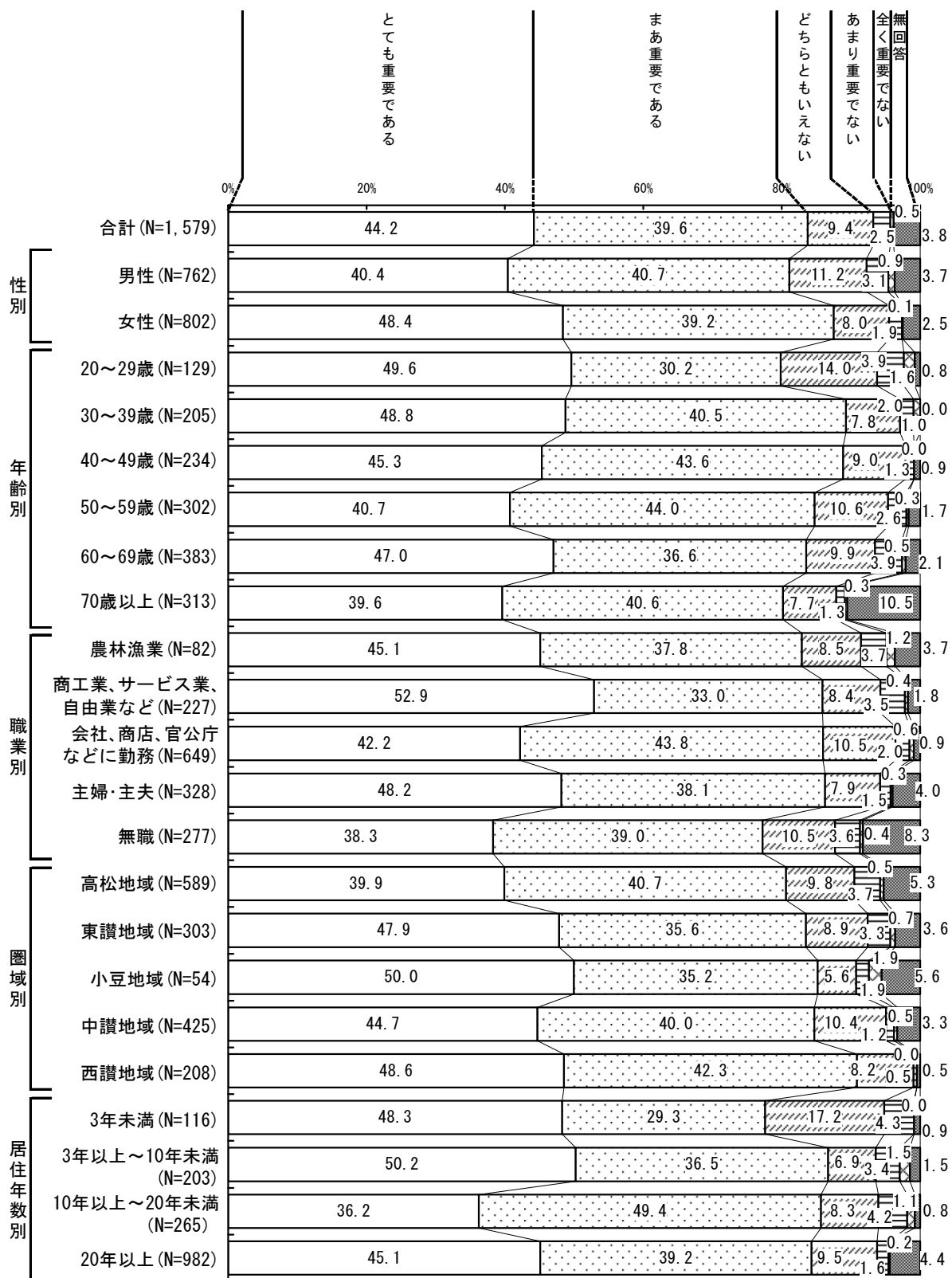
「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が81.1%、女性が87.6%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、20歳代において79.8%と7割台となっているが、その他の年齢では8割台となっている。

職業別では、無職において77.3%と7割台となっているが、その他の職業では8割台となっている。

圏域別では、すべての圏域で8割を超えて多くっており、特に西讃地域では90.9%と最も多くなっている。

居住年数別では、3年未満において77.6%と7割台となっているが、その他の居住年数では8割台となっている。



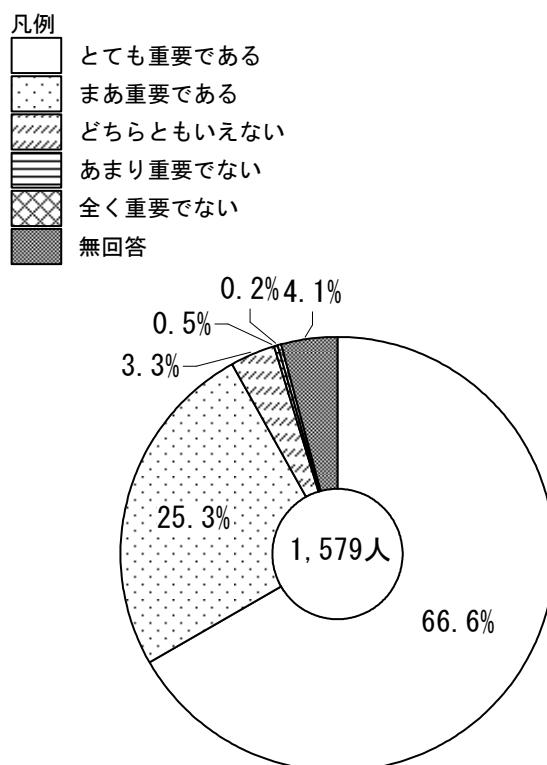
22) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと⑦

問24-⑦ タミフルなど抗インフルエンザウイルス薬の確保の重要度について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	66.6%
2	まあ重要である	25.3%
3	どちらともいえない	3.3%
4	あまり重要でない	0.5%
5	全く重要でない	0.2%
	(無回答)	4.1%

抗インフルエンザウイルス薬の確保の重要度については、「とても重要である」が66.6%で最も多く、次いで「まあ重要である」が25.3%、「どちらともいえない」が3.3%となっている。



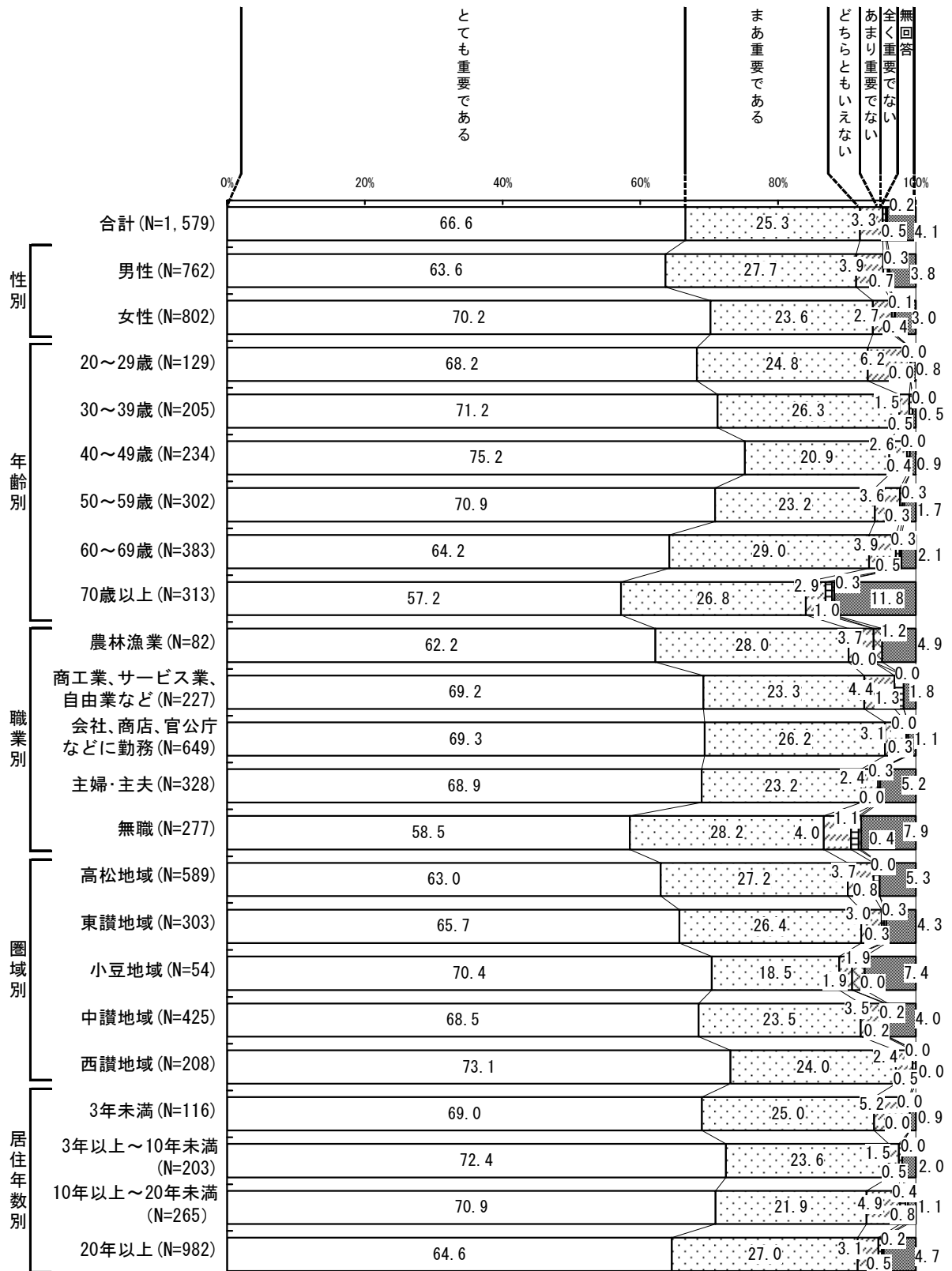
「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が91.3%、女性が93.8%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、70歳以上において84.0%と8割台となっているが、その他の年齢では9割台と多くなっている。

職業別では、無職において86.7%と8割台となっているが、その他の職業では9割台となっている。

圏域別では、小豆地域において88.9%と8割台となっているが、その他の圏域では9割台となっている。

居住年数別では、すべての居住年数で9割台となっており、居住年数間での大きな違いはみられない。



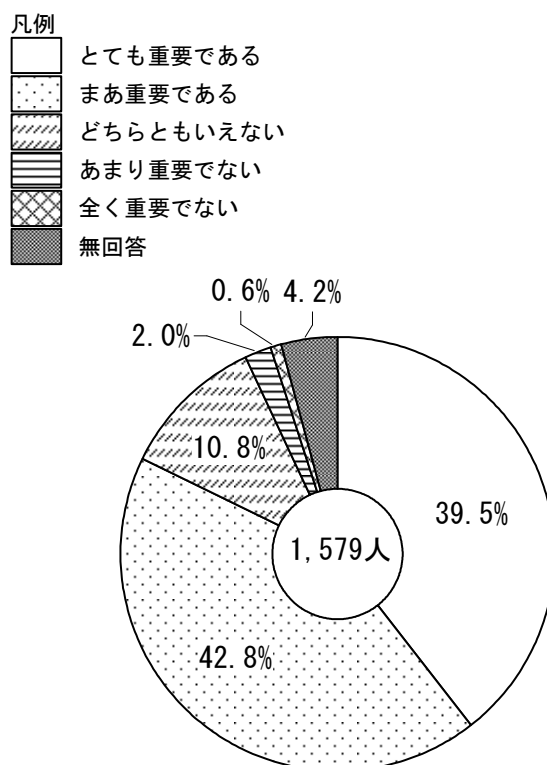
23) 新型インフルエンザへの対策で充実すべきこと⑧

問24-⑧ 保健所の電話相談の充実の重要度について、あてはまるものを1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,579〕

1	とても重要である	39.5%
2	まあ重要である	42.8%
3	どちらともいえない	10.8%
4	あまり重要でない	2.0%
5	全く重要でない	0.6%
	(無回答)	4.2%

保健所の電話相談の充実の重要度については「まあ重要である」が42.8%で最も多く、次いで「とても重要である」が39.5%、「どちらともいえない」が10.8%となっている。



「とても重要である」と「重要である」を合わせると、性別において、男性が80.6%、女性が85.1%となっており、女性の方が男性よりも若干多くなっている。

年齢別では、すべての年齢で7割を超えて多くなっており、20歳代では75.2%と最も少なく、50歳代では85.8%と最も多くなっている。

職業別では、農林漁業において74.4%と7割台となっているが、その他の職業では8割台となっている。

圏域別では、小豆地域において77.8%と7割台となっているが、その他の圏域では8割台となっている。

居住年数別では、すべての居住年数で8割台となっており、居住年数間での大きな違いはみられない。

